

平成29年度

足立区立元湊江公園・生物園 指定管理業務

年度業務報告書

指定管理者

体験型いきものパークマネジメント

東京都立川市錦町2-1-22

代表 株式会社自然教育研究センター

代表取締役 税所 功一



平成29年度 元漕江公園・生物園
指定管理業務 報告書

目 次

第一章 利用促進・教育普及業務

I 長期方針と平成29年度の活動

- 1. 長期方針 1
- 2. 今年度の活動 1
 - (1) 重点的取り組み
 - (2) 平成29年度の数値目標
 - (3) 業務実施計画
 - (4) 行事計画

II 受付業務

- 1. 受付窓口 7
 - (1) 年間入園者数の月別推移とその傾向
 - (2) 入園料収入
 - (3) インフォメーションの対応実績
 - (4) 来園者の声
- 2. ミュージアムショップの利用状況と売上実績 15
 - (1) 利用状況
 - (2) 販売状況
 - (3) 商品展開
- 3. 利用促進のための取り組み 20
 - (1) 生物園スタンプキャンペーン
 - (2) 生物園・東武動物公園年パス所持者特典相互減免キャンペーン
 - (3) お年玉くじキャンペーン

III 展示解説業務

- 1. 展示解説実施および対応実績 21
- 2. 夜間特別開園の実施 27
 - (1) ホタル見 night! の夜間特別開園
 - (2) 光の祭典夜間特別開園
- 3. 自主事業の実施 37
 - (1) 特別イベント
 - (2) ふれあいプログラム
 - (3) 導入型プログラム
 - (4) 発展型プログラム
- 4. 区民協働活動の推進・支援 31
 - (1) 昆虫飼育ボランティア
 - (2) 生きものふれあいボランティア
 - (3) 公園花壇ボランティア

5. 団体対応	32
(1) 団体プログラム	
(2) 出張授業	
(3) 教職員向け講座	
(4) 実習対応	
6. 展示による解説	35
(1) 常設展	
(2) 企画展・特別展	
7. 印刷物による解説	37
(1) セルフガイド	
(2) ニュースレター	
8. 連携事業	39
(1) 元淵江公園・生物園利用促進協議会	
(2) 地元企業との連携	
(3) プログラム連携	

IV 広報活動

1. メディア対応と掲載・放映の実績	43
(1) メディアへの情報発信	
(2) 掲載・放映実績	
2. ホームページによる情報発信	45
(1) ホームページアクセス数	
(2) Twitter アカウントの開設と運用	
3. ポスター・チラシ等による情報発信	47
(1) ポスター	
(2) ニュースレター	
(3) チラシ	
(4) 中吊り広告	
(5) デジタルサイネージ	
4. その他の情報発信	49
(1) 幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設への FAX 配信	
(2) 資生堂とのコラボキャンペーン	

第二章 生物飼育業務

I 生物飼育業務

1. 平成 29 年度の飼育状況	51
(1) 昆虫類	
(2) 両生爬虫類	
(3) 水族	
(4) 鳥類哺乳類	
2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト	52
(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	

(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト	
(6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト	
3. 特記事項	62
(1) チョウ類の月別放蝶実績	
(2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全	
(3) ホタルの飼育展示実績	
(4) 「ホタルのタベ」実現に向けたとりくみ	
(5) 観察展示室の水槽改修について	
(6) ピラルクーの成長実績	
(7) ニホンイシガメの生息域外保全	
(8) シバヤギの新規導入	

第三章 施設維持管理業務

I 元湊江公園の維持管理業務	
1. 公園管理上の留意事項	67
2. 公園維持管理業務の主な内容	67
3. 平成 29 年度施設管理業務実施報告（元湊江公園）	70
4. 公園維持管理作業の様子	71
II 生物園の維持管理業務	
1. 生物園維持管理業務の内容	77
2. 平成 29 年度施設管理業務実施報告（生物園）	78
3. 生物園維持管理作業の様子	79

第一章 利用促進・教育普及業務

I 長期方針と平成29年度の活動

1. 長期方針

『体験型いきものパーク』実現に向けて4つの機能を充実させます

本共同体は、指定管理業務期間である5年間の中で、元湊江公園および、生物園に『レクリエーションの場としての機能』、『環境学習の拠点としての機能』、『自然科学博物館としての機能』、『生物多様性保全の拠点としての機能』を位置づけ、『体験型いきものパーク』の実現を目指していきます。

2. 今年度の活動

(1) 重点的取り組み

今年度は、観察展示室の展示リニューアルを継続するとともに、「大人も楽しめる」「自然とのつながり」をコンセプトに自主事業の拡充を行います。また、平日と閑散期である冬期の集客を重点的な取り組みとして掲げ、20万人の来園者数を目指します。

① 自主事業の拡充・新企画

大人も楽しめる施設運営を目指し、展示やプログラムの内容を工夫していきます。また、生物園の有する教育的使命を果たすため、生物園と自然をつなげるプログラムを充実させたいと考えています。

● 大人も楽しめる施設運営

大人の方に興味を持っていただきやすいテーマとして「秋の鳴く虫」と「金魚」を取り上げ、文化や鑑賞方法を掘り下げる内容の展示にします。また、それぞれの期間中に関連プログラムを大人向けに実施し、大人でも楽しめる生物園としての印象を広めていきたいと考えています。

● 新企画「フィールドプログラム」

生物園内でのプログラムだけでは補いきれない「自然・生きもの・私たち」のつながりを実体験できる、フィールド観察プログラムを新規に3テーマ実施します。

② 連携事業の拡充

民間企業による指定管理のメリットを活かし、地域との連携をさらに強化していきたいと考えています。また、本業務と同一企業が都市農業公園の指定管理者となるため、ノウハウの共有や人材の交流が一層容易となり、連携強化が可能になります。

- 地域連携研究会

「さくらフェスタ」での集客やマナー啓発活動を元に地域の町会や商店街との連携のあり方を考えていく場を設けます。元漕江公園での大型イベントへの協力依頼と将来的には、例えば盆踊りのような地域住民での公園活用を目指します。

- 都市農業公園との連携

生物園で飼育している生物の糞尿を都市農業公園での有機肥料づくりに活用できないか検討しています。また、開催頻度は未定ですが、元漕江公園での出張朝市や都市農業公園での出張生物園を実施予定です。

③ PRの拡大

さらなる生物園、元漕江公園の発展・活性化および、来園者増につながる事業として、以下のような取り組みをしていきたいと考えています。

- 冬季の来園者増加のための対策

今年度6～7月に実施し、来園者増加対策として効果の高かった「スタンプキャンペーン」を、冬季（1/2～1/31）にも実施します。当日朝に気象庁から発表される東京の最高気温が10℃以下の日はスタンプ2倍とします。5個スタンプを集める毎に景品を差し上げます。

- 平日の来園者増加のための対策

事前に聞き取りをし、希望される介護団体や保育園、幼稚園に対しては、定期的に生物園の案内（利用方法、みどころ情報等）を配信します。

④ 展示の充実

- 展示の一部改修：観察展示室（水族エリア）：

老朽化が著しかった観察展示室の水槽改修を継続します。平成29年度は「冷たい海の世界」と「深海の世界」を新設し、水族館で人気の高いオオカミウオやオオグソクムシなど展示して、来園者増につなげます。

- 牧柵・導線の再整備：小牧場・ふれあいコーナー（哺乳類エリア）

現在モルモットのふれあいは屋外で行われていますが、雨の日や夏・冬の暑さ・寒さ対策として、飼育室やログハウスの屋内スペースを活用する方向で検討しています。導線の見直し等も含めて、老朽化している牧柵のリニューアル工事を行い、さらなる利便性の向上を目指します。

⑤ 動物の新規導入

- シバヤギ（メス）2頭

生物園で生まれたパルマワラビー（オス）1頭と交換に、今年3月に東武動物公園で生まれた仔ヤギ2頭を譲り受けます。4月中旬に導入予定で、その後1ヶ月程度は授乳の様子を来園者に見ていただくことができます。また今後、馴化が順調に進めば、ショーやふれあい体験、エサやり体験などへの活用が期待できます。

(2) 平成29年度の数値目標

① 目標入園者数：200,000人

本共同体は指定管理期間である5年間で入園者数を20万人まで増加させることを目標としていました。しかし、平成28年度にその目標を達成することができたため、今年度の目標入園者数を当初目標の19万5千人から20万人に上方修正します。

② 生物園目標収入額：33,750,000円

安定的な生物園の運営を可能にするため、入園料収入やミュージアムショップ、自主事業収入などの増収により収入（指定管理料を除く）を前年度比+50万円を目標収入額とします。

③ ミュージアムショップ目標収入額：8,000,000円

ミュージアムショップは生物園運営上、重要な収入源になっています。利用者のニーズを汲み取り、魅力的かつ、生物園らしい環境教育に資する商品を充実させることで、年間目標収入額を高水準で維持させることを目指します。

④ 目標年間対応率：100%以上

来園される全ての方に生物園の魅力を伝え、生物や生命の尊さに気付いてもらうため、解説員や飼育員などによる対応をできるかぎり行えるよう努力していきたいと考えています。そこで、総入園者数に対する延べ対応者数の割合が100%を超えることを目標とします。なお、対応者数としてカウントするのは下記の通りです。

インフォメーション: 受付での「見どころ紹介」「イベント案内」「展示案内」など

レンジャートーク: 解説員による「生物解説」「質問対応」「展示解説」など

プログラム: 対象者のレベルに応じて「導入型」「発展型」「セルフ」など

⑤ 発展型プログラムの目標応募率：120%以上

発展型プログラムは、あらかじめそのテーマに関心を持った方を対象に、より高度な内容で実施するため、募集形式を事前申込にしています。そのため応募状況がそのプログラムの人気（ニーズ）のひとつの目安となります。そこで、定員に対する応募者数の割合を応募率とし、それが120%を超えるよう、タイトルや内容、広報などを工夫していきます。

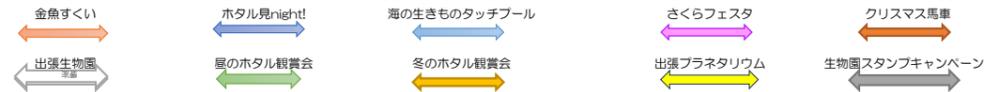
⑥ 導入型プログラムの目標参加率：100%

気軽に参加でき、生物や生命に関心を持つきっかけとなるよう、導入型プログラムは当日申込の形式をとっています。休日には、このプログラムの参加を目的に来園される方も多くいます。

天候などに影響を受けることもありますが、プログラムのニーズの目安として、定員に対する参加者数の割合を参加率とし、それが100%に達するよう努力します。

(4) 平成 29 年度行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	土 飼育員のオススメ「」 さくらコンサート ヒツジのショー	月 休園日	木	1 土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	火	金	1 日 公園ツアー「」	水 ちびっこプログラム	金	1 月 年末年始休暇	木	木	
2	日 公園ツアー「」	火	金	2 日 公園ツアー「」	水	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	2 月 休園日	木	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	2 火	金	金	
3	月	水	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	3 月 休園日	木	日 公園ツアー「」	3 火	金 ココロギ相撲	日 公園ツアー「」	3 水	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	
4	火	木	日 公園ツアー「」	4 火	金	月 休園日	4 水	ちびっこプログラム	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	月 休園日	日 公園ツアー「」 ボニー乗馬	日 公園ツアー「」	
5	水	金	月 休園日	5 水	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	火	5 木	日 公園ツアー「」	火	5 金	月 休園日	月 休園日	
6	木	土 レザークラフト 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	火	6 木	日 公園ツアー「」 足立で昆虫採集!	水	6 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	6 土	土 飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	火	
7	金	日 公園ツアー「」 レザークラフト	水	7 金	月	木	7 土	飼育員のオススメ「」 ヒツジのショー	木	7 日	公園ツアー「」	水	ちびっこプログラム
8	土 生きものガイド	月 休園日	木	8 土 生きものガイド	火	金	8 日	うらがわ探検ツアー	金	8 月	クイズ王選手権	木	木
9	日 うらがわ探検ツアー	火	金	9 日 うらがわ探検ツアー	水	土 生きものガイド	9 月	木	土 生きものガイド	9 火	休園日	金	金
10	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	10 月 休園日	木	日 うらがわ探検ツアー ススムシ飼育教室	10 火	休園日	日 うらがわ探検ツアー	10 水	ちびっこプログラム	土 生きものガイド	土 生きものガイド
11	火	木	日 うらがわ探検ツアー 移動動物園	11 火	金	月 休園日	11 水	ちびっこプログラム	土 生きものガイド	月 休園日	木	日 うらがわ探検ツアー	日 うらがわ探検ツアー
12	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	12 水	土 生きものガイド	火	12 木	日 うらがわ探検ツアー	火	12 金	月 休園日	月 休園日	
13	木	土 生きものガイド	火	13 木	日 うらがわ探検ツアー	水	13 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	13 土	土 生きものガイド	火 休園日	火
14	金	日 うらがわ探検ツアー ヒツジの毛刈り	水	14 金	月	木	14 土	生きものガイド	木	14 日	うらがわ探検ツアー	水	ちびっこプログラム
15	土 無料開園日	月 休園日	木	15 土 無料開園日	火	金	15 日	ニシキ撮影/らんちゅう倶楽部	金	15 月	休園日	木	木
16	日 ニシキ撮影	火	金	16 日 ニシキ撮影	水	土 無料開園日	16 月 休園日	木	土 無料開園日	16 火	休園日	金	金
17	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	17 月	木	日 鳴く虫night! ニシキ撮影/らんちゅう倶楽部	17 火	金	日 ニシキ撮影	17 水	ちびっこプログラム	土 無料開園日	土 無料開園日
18	火	木	日 ニシキ撮影	18 火 休園日	金	月	18 水	ちびっこプログラム	土 無料開園日	月 休園日	木	日 ボニー乗馬 ニシキ撮影	日 ニシキ撮影
19	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日/健康診察	19 水	土 無料開園日	火 休園日	19 木	日 ニシキ撮影	火	19 金	月 休園日	月 休園日	
20	木	土 無料開園日	火	20 木	日 ニシキ撮影/らんちゅう倶楽部	水	20 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	20 土	土 無料開園日	火	火
21	金	日 ニシキ撮影	水	21 金	月	木	21 土	無料開園日	木	21 日	ニシキ撮影	水	ちびっこプログラム
22	土 生きものガイド	月 休園日	木	22 土 生きものガイド	火	金	22 日	園長ガイド「」	金	22 月	休園日	木	木
23	日 園長ガイド「」 らんちゅう倶楽部	火	金	23 日 園長ガイド「」 カブトムシを育てよう!	水	土 自然体験デー? 生きものガイド/スタンプ	23 月 休園日	木	土 フェイスペイント (12歳未満)	23 火	休園日	金	金
24	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	24 月	木	日 園長ガイド「」 スタンプ	24 火	金	日 園長ガイド「」 クリスマスコンサート	24 水	ちびっこプログラム	土 生きものガイド	土 生きものガイド
25	火	木	日 園長ガイド「」	25 火	金	月 休園日	25 水	ちびっこプログラム	土 生きものガイド	月 特別開園	木	日 園長ガイド「」 移動動物園	日 園長ガイド「」
26	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	26 水	土 生物園に泊まろう	火	26 木	日 園長ガイド「」	火	26 金	月 休園日	月 休園日	
27	木	土 生きものガイド	火	27 木	日 園長ガイド「」	水	27 金	月 休園日	水	27 土	土 生きものガイド	火	火
28	金	日 園長ガイド「」 はちみつ搾り	水	28 金	月	木	28 土	生きものガイド	木	28 日	園長ガイド「」	水	ちびっこプログラム
29	土 海で生きもの探り!	月 休園日	木	29 土	火	金	29 日	わんフェス	金	29 月	休園日	木	木
30	日 はじめての飼育タンゴムシ	火	金	30 日	水	土	30 月 休園日	木	土 年末年始休暇	30 火	休園日	金	金
		水 ちびっこプログラム		31 月	木		31 火		日 年末年始休暇	31 水	ちびっこプログラム	土	土



II 受付業務

1.受付窓口

(1) 年間入園者数の月別推移とその傾向

今年度の生物園総入園者数は208,536人(月平均17,378人)、平成28年度比100.3%でした。

月別来園者数推移を昨年度と比較すると、9月までは多少の増減はあるものの、概ね例年と同一傾向でした。しかし、10月は雨天日が多く、特に週末2週に渡り襲来した台風で「公園まるごとおもちゃ箱」、「家族で釣り教室」、「わんフェス」を中止せざるを得なかったことで、入園者数が前年同月比-4,223人(76.9%)となってしまいました。

11月以降は、団体利用の誘致、「うんち展」や「だまされた展」などの企画展、東武動物公園との連携による年パス所持者の「相互割引キャンペーン」、「冬のスタンプキャンペーン」などの取り組みにより、10月に大きく落ち込んだ累計来園者数を徐々に回復させることができました。また、3月23日から開催した「さくらフェスタ」に加え、桜の開花が早まったことで、春休み期間の元渚江公園の来場者が例年以上に多くあり、生物園の入園者数にも大きく影響させることができました。最終的には、昨年度の実績を考慮して上方修正した目標入園者数200,000人を達成することができ、さらに過去最多の入園者数であった昨年度の実績も超えることができました。

平成29年度 生物園入園状況一覧表

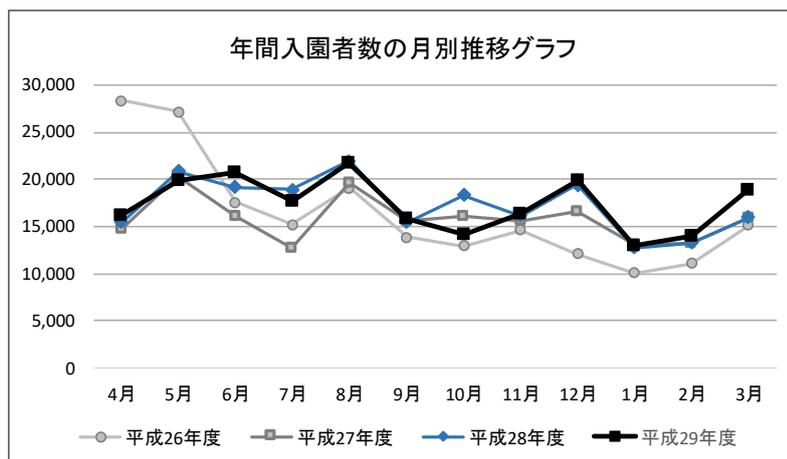
(単位：人)

月	有料入園									無料入園										総入園者数(A+B)					
	一般料金				団体料金		人数合計(A)			入園料免除					パスポート入園		人数合計(B)								
	一日券		パスポート購入		大人	小人	大人	小人	合計	申請書		幼児	高齢	身障		大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	合計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人			大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	合計
4	4,996	1,646	222	126	0	0	5,218	1,772	6,990	825	348	4,972	427	329	71	1,689	458	3,270	5,849	9,119	8,488	7,621	16,109		
5	6,889	2,253	212	98	86	0	7,187	2,351	9,538	836	566	6,130	357	457	81	1,545	451	3,195	7,228	10,423	10,382	9,579	19,961		
6	6,556	1,517	215	60	154	5	6,925	1,582	8,507	1,430	1,065	6,532	443	564	65	1,782	426	4,219	8,088	12,307	11,144	9,670	20,814		
7	5,183	1,616	233	93	61	37	5,477	1,746	7,223	908	602	5,668	297	459	85	1,803	641	3,467	6,996	10,463	8,944	8,742	17,686		
8	7,597	3,102	206	79	12	13	7,815	3,194	11,009	784	623	6,310	404	473	126	1,500	532	3,161	7,591	10,752	10,976	10,785	21,761		
9	4,862	1,179	184	43	34	7	5,080	1,229	6,309	848	1,009	5,301	284	372	72	1,357	370	2,861	6,752	9,613	7,941	7,981	15,922		
10	3,418	926	135	27	196	0	3,749	953	4,702	1,151	1,543	4,705	203	348	149	1,013	304	2,715	6,701	9,416	6,464	7,654	14,118		
11	4,603	1,161	168	33	88	2	4,859	1,196	6,055	744	1,428	5,591	323	565	53	1,312	349	2,944	7,421	10,365	7,803	8,617	16,420		
12	6,548	2,104	179	33	0	0	6,727	2,137	8,864	1,411	559	5,798	514	681	122	1,571	366	4,177	6,845	11,022	10,904	8,982	19,886		
1	4,031	933	236	32	60	6	4,327	971	5,298	549	535	4,362	287	267	48	1,312	348	2,415	5,293	7,708	6,742	6,264	13,006		
2	4,233	904	186	31	0	0	4,419	935	5,354	568	176	5,235	268	287	71	1,611	369	2,734	5,851	8,585	7,153	6,786	13,939		
3	5,339	1,651	230	46	50	0	5,619	1,697	7,316	900	466	6,869	514	456	87	1,849	457	3,719	7,879	11,598	9,338	9,576	18,914		
計	#####	#####	2,406	701	741	70	67,402	19,763	87,165	#####	8,920	#####	4,321	5,258	1,030	18,344	5,071	38,877	82,494	121,371	106,279	102,257	208,536		

平成 29 年度と過去 3 年間の月別入園者数推移の比較

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成26年度	28,313	27,196	17,612	15,180	19,051	13,846	12,913	14,649	12,097	10,059	11,103	15,115	197,134
(26年度累計)	28,313	55,509	73,121	88,301	107,352	121,198	134,111	148,760	160,857	170,916	182,019	197,134	
平成27年度	14,727	20,362	16,024	12,676	19,628	15,519	16,076	15,528	16,524	13,034	13,189	15,994	189,281
(27年度累計)	14,727	35,089	51,113	63,789	83,417	98,936	115,012	130,540	147,064	160,098	173,287	189,281	
平成28年度	15,502	20,895	19,175	18,925	21,944	15,484	18,341	16,166	19,402	12,753	13,303	15,960	207,850
(28年度累計)	15,502	36,397	55,572	74,497	96,441	111,925	130,266	146,432	165,834	178,587	191,890	207,850	
平成29年度	16,109	19,961	20,814	17,686	21,761	15,922	14,118	16,420	19,886	13,006	13,939	18,914	208,536
(29年度累計)	16,109	36,070	56,884	74,570	96,331	112,253	126,371	142,791	162,677	175,683	189,622	208,536	
前年同月比%	103.9	95.5	108.5	93.4	99.1	102.8	76.9	101.5	102.4	101.9	104.7	118.5	
前年同月累計比%	103.9	99.1	102.3	100.0	99.8	100.2	97.0	97.5	98.0	98.3	98.8	100.3	



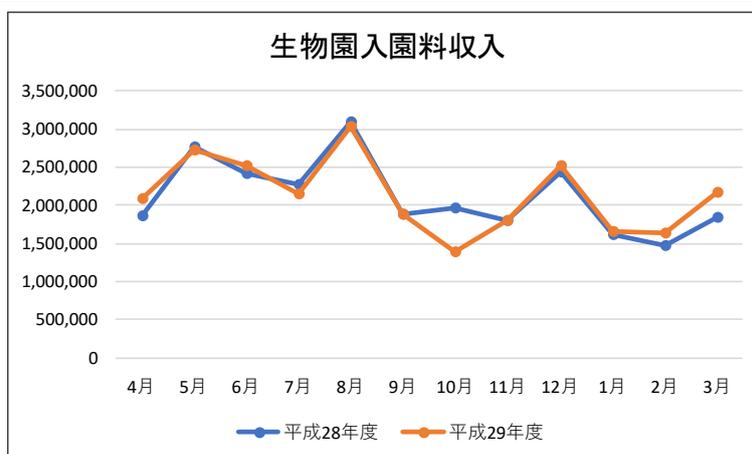
(2) 入園料収入

今年度の生物園の入園料収入は 25,592,500 円で、昨年度比+126,700 円 (100. 5%) と なりました。10 月は入園者数と同様に悪天候の影響で昨年度比-589,950 円 (70.1%) で、大きく収入を減少させる結果となりましたが、11 月以降、徐々に回復させることができました。

平成 29 年度と平成 28 年度の入園料収入の比較

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成28年度	1,868,450	2,776,700	2,422,650	2,268,300	3,094,500	1,891,200	1,971,650	1,808,300	2,434,500	1,610,400	1,481,650	1,837,500	25,465,800
平成29年度	2,087,700	2,735,050	2,519,650	2,148,600	3,042,700	1,889,550	1,381,700	1,794,250	2,514,600	1,664,250	1,647,300	2,167,150	25,592,500



(3) インフォメーションの対応実績

受付では入園券の受け取りや年間パスポート作成の他に、来園者に対して、利用やイベント、展示情報などニーズに合わせた適切な情報提供も行っています。今年度受付で対応したインフォメーションの実績は、年間121,466回、122,265人になりました。

生物園の入り口に位置する受付は、来園者にとって最も生物園の印象を受けやすい場のひとつとなります。そのため「元気に笑顔で…」をモットーに積極的な接客対応を心がけました。来園者と直接コミュニケーションをとることで要望や意見を敏感に察知し、利用者サービスの向上につながるよう努めました。

また、今年度は障がい者への配慮および多言語化への取り組みとして、タブレット端末を受付に設置し、筆談や通訳のアプリケーションを使って円滑なコミュニケーションを可能にしました。

平成29年度インフォメーション対応実績

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	9,182	12,155	12,082	10,330	14,705	8,996	7,946	8,908	11,151	7,861	7,349	10,801	121,466
大人	5,661	7,597	7,473	6,416	8,750	5,576	4,681	5,367	7,921	5,039	4,660	6,673	75,814
子ども	2,736	4,632	4,560	4,112	6,082	3,607	3,587	3,698	3,396	2,968	2,791	4,282	46,451
計	8,397	12,229	12,033	10,528	14,832	9,183	8,268	9,065	11,317	8,007	7,451	10,955	122,265

(4) 来園者の声

ご来園下さるみなさまが満足していただけるように、寄せられた要望は真摯に受け止め、よりよいサービスを提供できるように心がけた対応を行なっています。

月例会議にて区へ報告・提案し、改善へつなげることで、来園者へのサービス向上に努めました。会議で取り上げた1年間のお客様の声を以下の表にまとめました。

ポジティブな意見

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	とても楽しかったです！スタッフの方も皆様感じがよく子供も喜んでいました。		女性		済
5月	初めて来ましたが、とてもとても良く、また必ず来たいと思いました。飼育員の方の子どもの扱いが上手でした。興味が湧くように、そしてわかりやすく説明、優しく対応してくれて感激しました。	36歳	女性		済
	トイレ綺麗ですね。	40代	女性		済
6月	ホタルの褒詞多数 「キレイだった」「光のイルミネーションみたい」「テレビを観て楽しみに来ました」「音楽(演出)がよかった」「ホタルはこうやって生きてるんだ、と勉強になった」など				済
7月	生物園に毎日行きたいです	7歳	女性		済
	大山さんありがとございました！B1の方々勉強になりました！	11歳	女性		済
	300円でこのスケールの施設に入園できるなんて正直言葉が出ないです。	17歳	男性		済

8月	スタッフの皆さん、園長さんが丁寧にお話してくださって大変嬉しかったです。	43歳	女性		済	
	展示が素晴らしく、小さな子どもにも見やすく楽しめました。みなさんやさしく、特にモルモット担当のお姉さんありがとう。清掃も素晴らしい。また来ます。					済
	授乳室がとてもきれいで赤ちゃんも連れて来やすいです。	32歳	女性			済
9月	展示が新しくなっていて面白かったです。セルフガイドが見やすくて好きです。	24歳	女性		済	
	初めて来たが、とても充実していて見ごたえがありました！チョウの部屋が特によかったです。	26歳	女性			済
	思っていたよりすごく楽しかったです。チョウの所はすごく天国みたいだった。掃除も行き届いていてまた来たいです。	40歳	女性			済
	飼育の方の説明がすばらしい	69歳	男性			済
	太鼓が良かった。高校生の方おつかれさま。	47歳	女性			済
10月	HPも展示も生きものへの愛が感じられました。とてもみやすく、きれいでかわいかったです。また来たいです！みなさんこれからも頑張ってください。飼育員の方みなさんとてもくわしく、楽しく教えてくれました。素晴らしいです！	46	女性			済
	子どもがわくわくする工夫がいたるところにあり楽しんでいました。スタッフもみんな親切で丁寧でとても良かったです。	43	女性			済
	キッズルームの利用方法良いですね。	30代	女性			済
11月	ハ虫・両生類の展示レイアウトが素敵でした。マーブルサラマンダー良かったです。	20歳	女性		済	
	人から紹介されて沖縄から来ました。いいですね。	50代	男性			済
12月	テレビで見たから行ってみたかったので来られて良かった。沢山、見ごたえありました。	28歳	女性		済	
	小さいながら施設が充実しているのに感心しました。管理も良く、係の方も親切でありがとうございます。					済
	夏の温室の放蝶が印象に残っています。子どもとみるのにちょうどよい広さでありながら、多様な生きものがおり、いつ来ても楽しめます。	6歳	女性			済
1月	いつも最高に楽しくて係の方が親切！ありがとうございます。				済	
	毎年クイズ大会の問題や準備ありがとうございます。進行も工夫されていて、スタッフの努力に頭が下がります。これから宜しくお願いします。	42歳	女性			済
	ドッグショーが楽しかった(複数あり)					済
2月	季節に合わせた展示でわかりやすい解説をしていた	10歳	女性		済	
	トッピーとの年パスコラボがとても良かったので、また是非やって欲しいです	40代	男性			済
3月	地域の自然環境を再現した展示など、様々な生きものに興味をもつことができました。	13歳	男性		済	
	植物園がとても良く整備されていて非常に楽しめました。また来ます。ありがとうございました。	31歳	男性			済

要望と課題

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	オタマジャクシのふれあい注意書きを壁にも張った方がいいと思う。	20代	女性	「おたまじゃくしをすくわないで」という注意書きを掲示しました。庭園池のようなスタッフが常駐していないロケーションへの生きものとの接し方にも注意を払うよう努めていきます。	済
	バックヤードの扉の開閉音が大きいのが気になりました。	30代	女性	該当すると思われる大温室と水族バックヤードを繋ぐ扉はメンテナンスをしました。そのような声があったことをスタッフに周知し、各自修繕への意識を高めていきます。	済
	鳥が触れるイベントに参加したい。	10代	女性	高病原性鳥インフルエンザが解除されましたら、ふれあいを体験できるよう飼育・展示計画を立てていきます。	済
	公園池にいるケガをした野鳥を保護してほしい			園側で保護し、鳥獣保護課へ引き渡しました。ただし、鳥インフルエンザ発生下では、鳥類との濃密な接触を避けなければいけないため対応しかねることもございます。	済
6月	ホテルを見るより暗い中歩くのがやっとこさの86歳。足元だけでも豆ランプ曲がり角だけでも明かりが欲しかった。	86歳	男性	今後、暗い場所にお客様を誘導するプログラムの際は、足元の導線を蓄光シールなどでわかりやすくしていきます。しかし、それでも暗室に入る事が困難な身体的弱者の方もいらっしゃると思うので、そういった場合はスタッフが腕や肩を貸して補助するなど、可能な限り対応していきたいと思えます。	済
	図書コーナーの電気が暗かったです。			ホテル展示の環境を優先したために発生してしまいました。ご指摘通り、本を読むには暗かったと思われます。今後の室内ホテル展示の際は、電気スタンドを使用するなどしていきたいと思えます。常に全体を見渡し来園者に不都合な点が生まれていないか複数の視点で確認することが必要と考えています。	済
	月に一度開催しているヘビとの撮影についてなのですが、スタッフさんが撮影してくれるのでありがたいと思っているのですが、スタッフさんがカメラを構えてくださる場所が水槽の向かいの段差上からなので、撮ってくださった写真を見ると顔や頭がかなり伸びて写っており勿体無く思っております。せっかくヘビと一緒に撮れてうれしいのですがそれだけが残念です。同じ高さからというのは難しいリクエストになりますでしょうか…			今後は可能な限り撮影時のご要望に沿えるようにしたいと考えております。次回お越しの際はぜひ撮影スタッフにお声を掛けて頂ければ幸いです。	済
7月	・背の低い友達がアーチャーフィッシュの水槽のハゼが見えないので、踏み台が欲しい。	9歳	女性	スタッフ常駐でない場所に踏み台を設置することは安全管理上、難しいと園としては結論づけています。	済
	・生きものを見るのに、こども用踏み台を使いたい。	30代	女性		
8月	チョウのエサ台のところに水が溜まっていてボウフラがいたのが気持ち悪かったです。お水を捨てた方がいいのでは？	52	女性	水の交換を毎日のルーティンワークとして取り組んでいきます。	済
	カブトムシの飼育に抽選外れたので、来年は参加人数を増やして欲しい			H30年度は2回開催する運びとなりましたので、結果対応人数は昨年までの倍になります。	済
	ザリガニ釣りのコーナーで小さな子どもが水槽の高さに戸惑っている。イスがあれば良い。			ザリガニ釣り体験は小学生の利用をメインとした高さの設定にしています。未就学児などのお子さんには保護者の同伴をお願いし、抱っこなどをして参加してもらうような対応をお願いしています。	済
	傘が壊れていた、もう少し大きい傘が欲しい。			定期的に関閉をしてチェックをするようにしていきます。傘のサイズに関しては検討させていただきます。	済
9月	いつもチンチラが岩の陰にいて見えないので、まるで岩ルームのようで残念。他の生物も含めてあのスペースを楽しく充実させて欲しい。	40歳	女性	チンチラの展示は動物福祉の観点から、可能な限り本来の生息環境に則したものを心がけています。可能な限り生体が見えやすいような石組みを心がけると共に、毎日16時に行われる「チンチラのご飯」の時間には、元気に展示ブースを跳ね回る姿が見れます。	済
	楽しかったです。2階のお店屋さんの商品が増えてくれると嬉しいです。	10歳	女性	ミュージアムショップは教育的価値のある商品を重視しています。そういった観点からもより良い商材を見つけ、売り場に反映していきたいと考えております。	済

10月	チョウは特に食草があるのでそれが知りたい。好きなみつ源がある名前を木にかいてね。	68	女性	チョウが好む蜜源や、幼虫の食草はバタフライガーデン前に詳しい解説パネルを掲示しています。それと併せて、セルフガイドや、温室内に設置している「チョウの観察シート」にて情報提供を心がけています。	済
	バッタのセルフガイドが欲しい	30代	女性	現在までに37種類のセルフガイドがあり、年間3タイトル新規作成しており、現在は「カタツムリ」を作成中です。こういったお声も今後の制作の指針になりますので、参考にさせていただきます。	
	【足立区宛 区民の声より】 現在タガメが絶滅に近い生物であるので、ぜひとも生物園で飼育してください。飼育できる場合、外来種のザリガニを仕入れてエサにしてみたいです。			生物園では数年前からタガメをはじめとする水生昆虫の飼育、展示に力を入れて取り組んでおります。エサはメダカなどの小魚を中心にザリガニなども与えています。現在、越冬や繁殖にも成功しており、通年展示を可能にしています。	済
11月	オカメインコの寒さ対策はあれで大丈夫ですか？あれを見て飼育されると6年も経たずに死んでしまいそうで教育に良くないと思います。子どもたちのお手本になるような飼育が良いかと思います。	27歳	女性	インコがよく集まる箇所付近にビニールシートを貼り雨風を凌ぐスポットを作りました。6年も経たずに死んでしまうという傾向は全くございませんので、経過を観察していきたいです。	済
12月	毎月ニュースレターを拝見しています。12月号の記事で気になることがありましたので、初めて連絡させていただきます。「解説員のひとりごと」での、真冬の川でカメの生態調査です。写真の亀はクサガメだと思いますが、自然界では、真冬の亀は冬眠状態であることは調査するまでもなく明らかです。私は25年クサガメを飼っていますが、なるべく自然に近い状態で飼い、自宅に池がないので、冬は大きい容器に水を(凍らないよう)深く入れて、暗くて静かで外と温度が近い場所で冬眠(クサガメは11月から4月頃まで)させています。ミドリガメより冬眠期間は長いです。冬眠中の亀を探し出して、水中から出すようなことはやめてほしいとお願ひしたいです。どのように冬眠するのか観察したいのであれば、私のような飼育環境に置けばできますので、是非、ご検討ください。私も、孵化して初めての冬の冬眠は、心配なので、時々冬眠状態を観察チェックしています。		女性	ニュースレターで紹介しておりますカメはニホンインガメで、近年外来起源とされるクサガメとの交雑による遺伝子汚染、北米起源のアライグマの捕食によって急激に個体数を減らしています。越冬中のカメはアライグマに襲われやすく、越冬場所によって捕食されるかどうか左右されます。そのような環境でインガメの保護につなげるためには、現地の状況を冬季含め年中追跡し影響を把握・評価する必要があります。肝心の冬季調査ですが、カメを捕獲したことによる生残率低下の恐れですが、長期調査にわたる再捕獲などの結果から影響は検出されていません。アライグマなどの外来生物からカメを守るため、現地での状況を理解し対策を図る調査であることをご理解いただけたら幸いです。	済
1月	公園での風揚げを禁止して欲しい。落ちてきて危ない。	20代	男性	他の利用者に危険が及ぶと思われる行為はこちらから注意をしていき、みなさまの安全に配慮していきたいと思ひます。	済
2月	動物が少なすぎる(ライオンなどを入れてほしい)	10歳	女性	生物園は哺乳類だけでなく、昆虫や両生類、爬虫類・魚類など、生きもの多様性を伝えていきたいと思ひます。そういった小さな生きものたちにも目を向けて貰えたら嬉しいです。哺乳類に関しては、年に2回行っている東武動物公園との連携事業「移動動物園」で普段生物園で見ることができない動物を展示します。飼育する動物も毎年新規導入種を入れておりますので、そちらもお楽しみにしてください。	済
	スタンプカードを続けてください。お願いします。	8歳	男性	大変ご好評頂いてるスタンプキャンペーンですが、来年以降も6/1～7/20と1/2～2/28の年2回実施していきます。	済
	元淵江公園の環境も良くなりました。が、最近、個人の“ごみ”の放置が目立っています。【ゴミ持ち帰り】の看板掲示と、見回りをお願いします。			男性	対応としては、1. ゴミの放置が多い池の周囲に、「ゴミは各自持ち帰り」の注意喚起の看板を貼り出しいたします。2. 朝・夕を中心に見回りと園内清掃を実施します。今後とも公園利用について、お気づきの点などございましたら、ご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。
3月	ザリガニのとこにカニをふやしてほしいです。シマリスのかずをふやしてください。	9歳	女性	カニは春～秋にかけて、荒若ビジターセンターで採れた余剰な個体をお出ししています。冬場には冬眠してしまうためザリガニのみになることをご理解ください。シマリスは現在一頭病気中なので、隔離飼育をしています。体調が戻りましたら再度展示を再開したいと思ひます。	済

ネガティブな意見と課題

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	草地広場にて少年の蹴ったサッカーボールが乳児を抱っこしているお母さんに当たった。今回は乳児にこそ当たらなかったがとても危険を感じた。今後安心して利用できるように、注意、見回り、貼紙などを強化し対応してほしい。	20～30代	女性	陳情を受けた後、危険そうな球技をしている利用者には多目的広場に移動をお願いしました。しかし、球技と言っても幼児が使用する柔らかいおもちゃボールの利用など、どこまで取り締まればよいか基準が曖昧な為判断が難しいところもあります。取り急ぎの対応として、草地広場にボール遊び禁止の看板を2枚設置しました。	済
5月	【5/21草地広場での声】 元洲江公園の草地広場の草を刈りこみ過ぎ。砂埃が立つからあまり刈りこまないで欲しい。		男性	ご指摘の通り刈り込みの高さを少し上げるようにいたしました。	済
	【5/5来園者アンケートより】 ねこのふれあいにならんでいたのに案内なく締め切られ、割り込んできた人の中に入れていた。ふざけんな！しっかり対応しろ。職員最低！		女性	対応に当たったスタッフに確認を取ったところ、そのお客様のお連れ様は対象年齢外の小学生でした。しかし、生物園のルールをお客様にご理解頂くには言葉が足りなかったことはこちらの落ち度です。今後の対応としては、7/21からねこのふれあいは整理券対応と致します。そして、きつずる一む対応スタッフ間でルールを再確認しこのようなお叱りがないように運営していきたいと思えます。	済
6月	【6/28生物園利用者アンケートより】 何も見れなくてつまらない。金返せと思うほど。ありえない！！	27歳	女性	この方のアンケートには、見たい生きものに「カブトムシ、クワガタムシ」と記入があったので、おそらく昆虫ドームでそれらが見られなかったことが要因と考えられます。今後はHPやSNSなどで昆虫ドーム内の見どころ情報などを発信していき、こういったお叱りがないように対応していきたいと思えます。	済
	【6/18生物園利用者アンケートより】 他のスタッフさんは皆様感じが良いのにホテルの部屋にいたスタッフが考えられないくらい態度が悪く驚きましたし残念でした。ホテル見BOXに入室時、手すりをすぐにつかめないとイラついた様子で「持て」と高圧的に言われ楽しい気持ちで見ることが出来なくなりました。言い方があると思えます。「ありがとうございました」も言わないなど本当に不快でした。	38歳	男性	該当スタッフに状況を確認したところ、そういった対応はしていないが、そう思わせてしまったことにはこちらに非があると反省しております。スタッフ全員でこの事案を共有し、改めて接客ということを各自考えさせていきたいです。特に表情も見えない暗がりの中では声のトーンだけで判断されてしまうこともあるのでその辺りも指導していきたいと思えます。	済
7月	【7/17公園利用者アンケートより】 見学中に清掃をするのはいいが、見学のプレッシャーになるような清掃はやめてほしい。	45歳	男性	新しい清掃スタッフが入り、指導が行き届いておらず周りが見えなくなっていた部分があったと思えます。今後は周りに気を配りながら、見学中のお客様とは距離を置いた清掃を心がけるように指導していきます。	済
8月	【8/17 利用者アンケート】 ネコのコンセプトが良くない。あんなに待たせるほどのイベントではないと思う。			ねこの気まぐれタイムは概ね好評頂いています。生体へのストレスなどに留意しながら、教育的意味のあるふれあい体験を心がけていきます。	済
2月	剪定作業の来園者通行誘導の際、スタッフの誘導が「態度」、「言葉遣い」ともに無礼であると区へ陳情が届く。		男性	誘導スタッフは年初に脚を骨折し、治癒直後で痛みが再発した中での作業でした。よって着座しながらの誘導をしてしまったために不遜な態度と取られてしまったと思われまます。その旨を園長から陳情者へ電話で謝罪を致しました。該当するスタッフには痛みがなくなるまで休暇するよう指示しています。	済

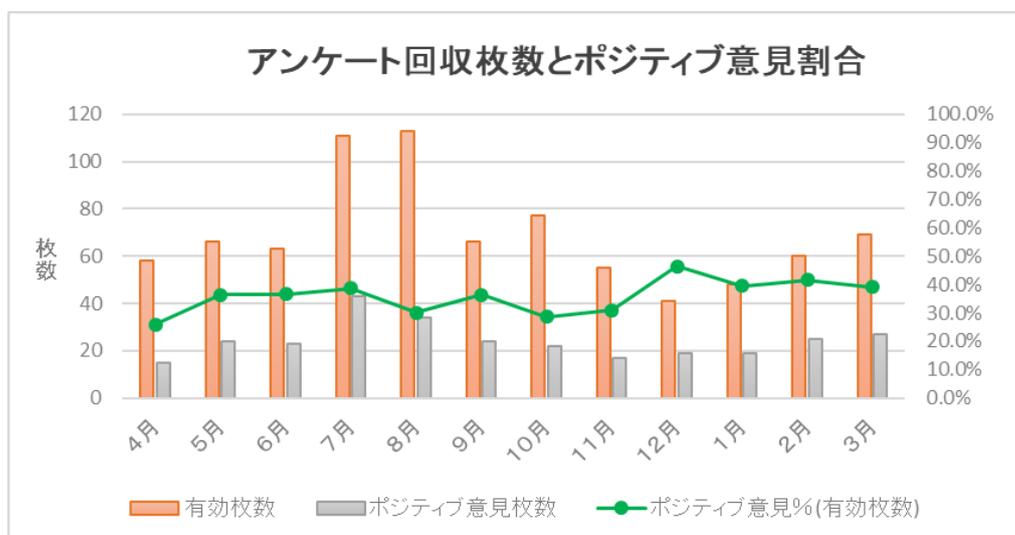
また、お客様の満足度を把握するために、ポジティブなご意見の割合を次の表にまとめました。

ポジティブな意見・感想

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
楽しかった	12	9	4	22	14	13	11	10	8	10	12	13	138
素晴らしい	1	2	0	4	0	2	1	0	1	3	1	1	16
動物がかわいかった	0	1	2	5	2	1	1	1	4	0	3	6	26
説明が良かった	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	1	6
子供が喜んでた	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
勉強になった	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	4
蝶々がきれい	0	1	1	1	5	1	3	2	0	1	1	2	18
展示方法が良い	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	7
イベントがたくさんで良い	0	0	0	1	2	1	0	0	0	2	0	0	6
施設が綺麗	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	5
トイレが綺麗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触合える距離が近くていい	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	7
色々な動物が見れて良かった	2	6	7	2	8	2	5	2	4	2	4	1	45
パンが美味しかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
金魚がすごい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ホタルがすごい	0	0	6	3	0	0	0	0	1	0	0	0	10
イルミがきれい	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
お土産がかわいい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	24	23	43	34	24	22	17	19	19	25	27	292

○回収枚数	71	71	66	120	121	68	81	56	47	51	61	71	884
○有効枚数	58	66	63	111	113	66	77	55	41	48	60	69	827
○割合(全体)	21.1%	33.8%	34.8%	35.8%	28.1%	35.3%	27.2%	30.4%	40.4%	37.3%	41.0%	38.0%	33.0%
○割合(有効)	25.9%	36.4%	36.5%	38.7%	30.1%	36.4%	28.6%	30.9%	46.3%	39.6%	41.7%	39.1%	35.3%

(*有効枚数：アンケート回収枚数から明らかなイタズラ書きなどを除いたもの。)



一年間を通じてのアンケート回収枚数は884枚（有効枚数827枚）で昨年度の897枚（有効枚数800枚）と大きな差異はありませんでした。しかし、ポジティブ意見の割合を比較すると今年度は35.3%で、平成28年度の28%を大きく上回りました。生物園利用者様からのネガティブな意見・クレームなど、お叱りの声が年々少なくなっています。その結果、自然とポジティブな意見の割合が増えており、満足度が向上していると考えます。とりわけ来園が初めてのお客様からの好意的なご意見がとても多く見られ、157人中88人（56%）の方がポジティブな意見をお寄せくださいました。

2.ミュージアムショップの利用状況と売上実績

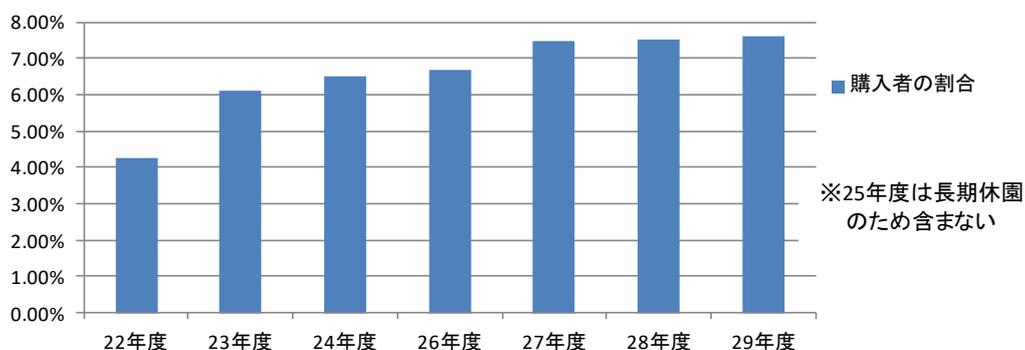
(1) 利用状況

平成 29 年度のミュージアムショップ（以下ショップ）利用者数は 52,045 人、商品購入者数は 15,904 人でした。ここでのショップ利用者とは、ショップ内に立ち入り、商品を眺める、触れる、商品についてスタッフに尋ねるといった行動をした人数を指します。全入園者数に対して、ショップを利用したのは約 25%、ショップで商品を購入したのは約 7.6%にあたります。全入園者には、校外学習で訪れた幼稚園生や小学生、介護施設の団体利用などショップに立ち寄らない利用者も含まれます。教育関係や介護施設といった免除申請の利用者を引いた入園者数でみると、ショップを利用したのは約 47%、商品を購入したのが約 14%となります。

ショップの月別利用者数			
	ショップ利用者数	ショップ購入者数	入園者数
4月	4,245	1,158	16,109
5月	4,559	2,403	19,961
6月	5,456	1,366	20,814
7月	4,992	1,626	17,686
8月	6,895	2,070	21,761
9月	3,755	1,305	15,922
10月	2,762	945	14,118
11月	3,631	965	16,420
12月	4,642	1,102	19,886
1月	3,430	876	13,006
2月	3,535	930	13,939
3月	4,143	1,158	18,914
計	52,045	15,904	208,536
平均	4,337	1,325	17,378

全入園者数に占めるショップ購入者の割合を年度別に表したのが以下のグラフです。22 年度は 4.2%でしたが毎年増加し続けており、29 年度は過去最高の 7.6%となりました。ミュージアムショップの存在が多くのお客様に認知され、毎週お立ち寄りいただけるようになりピーターのお客様が増えたことも一つの理由と考えられます。

入園者に占める商品購入者の割合



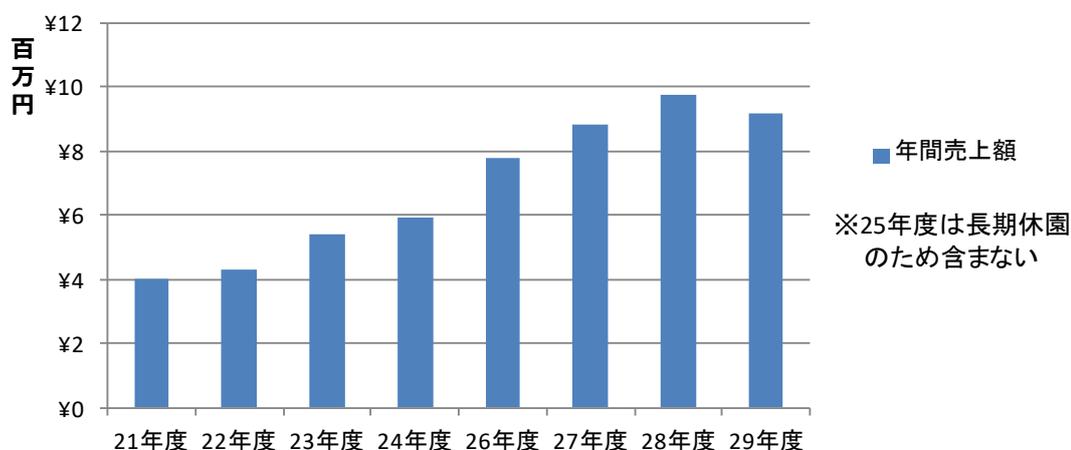
(2) 販売状況

① 年間売上額

平成 29 年度のショップ売上額は 9,189,540 円です。このショップ売上額には、食品およびミュージアムショップの前に設置されているカプセル商材（ガチャ）の売上額を含んでいます。また、足立区の有料頒布物「荒川の昔」はショップで販売していますが、別会計で売上を全て区に納めているため、ショップの売上には含まれません。

ミュージアムショップ開店から 29 年度までの、各年度におけるショップ年間売上額の推移をまとめたものが以下のグラフです。

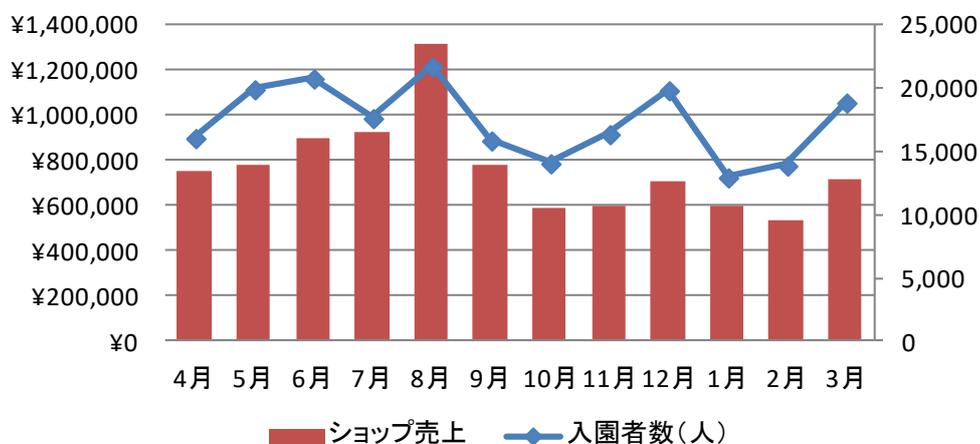
各年度におけるショップ売上の推移



② 月別販売状況

各月のショップ売上額と入園者数を比較したものが次のグラフです。

ショップの月別売上と入園者数の関係



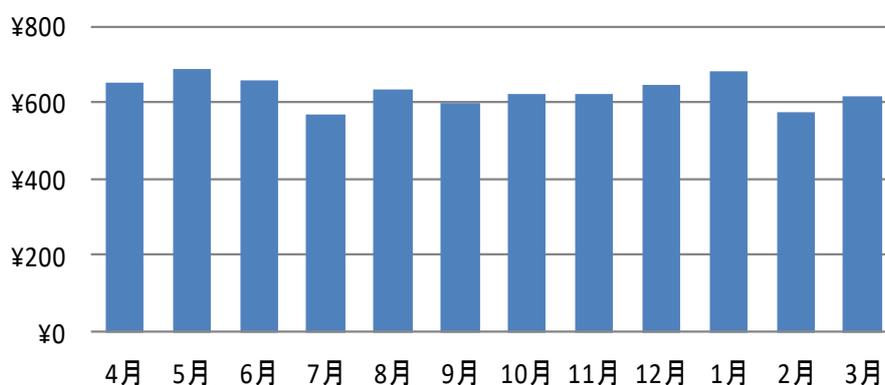
昨年と比較して、7月、10月の売上が目立って落ち込みました。これは、「生物園のはち

みつ」が昨年度は7月から229個販売したのに対し、今年度は9月から計87個販売したため、7月の売上額に影響を及ぼしたと考えられます。また、10月は台風等悪天候によるイベントの中止もあったため、来園者数が昨年度より大幅に減少しました。このことが、ショップ売上額に影響を及ぼした可能性があるかと推察されます。

③ 客単価

客単価はショップの売上額をのべ購入者数で割ったものです。平成29年度平均客単価は昨年度とほとんど変わらず、630円でした。

平成29年度月別客単価の推移



客単価が最も高かったのは5月で、688円でした。5月はゴールデンウィークの期間に金魚すくいイベントがあり、それに合わせてミュージアムショップでは1,620円の飼育セットを販売しています。平均客単価の倍以上の商品が多く出ることにはなかなかないので、結果として客単価が高くなったといえます。

年間で販売した商品数は30,692個、購入者数が延べ14,632人であることから、1回の購入個数は平均2個程度とみなせます。客単価が623円ということと合わせると、150～400円程度の比較的単価の低い商品を、2、3個購入されるお客様が多いと考えられます。実際に商品ごとの売上個数をみると、上位10位の商品は全て500円以下のものでした。特に、いきものパンやクッキー、ドライフルーツは、様々な種類を展開して選べるようにしたためか、お一人で3つ、4つとお買い上げになるお客様が多くいらっしゃいました。今後も、こうした売れ筋価格を意識した商品展開を行うことが求められます。

(3) 商品展開

ミュージアムショップは単なる「お土産屋さん」ではなく、生物園での体験や感動をアフターフォローできるようなグッズを提供することを目指しています。29年度は生物園ならではのオリジナル商品の開発に力を入れただけでなく、足立区内の法人が販売している、足立区ならではの商品も販売しました。

① 新規取り扱い商品

平成 29 年度に取り扱った商品は 56 法人 450 種で、4 法人が新たに取り扱先業者として加わりました。以下が新たにお取引を開始した企業一覧です。このうち、(有)村岡製作所、NPO 法人あだち菜うどん学会、体験型有機農業パークマネジメントは足立区内の法人です。(地元企業との取引詳細は「連携事業」に別途記載)

平成29年度新規取引先一覧	
取引先名	取り扱い商品
財団法人自然環境研究センター	里山の生きもの下敷き
(有)村岡製作所	足立区生物園オリジナルストラップ
あだち菜うどん学会	あだち菜うどん・パスタ
体験型有機農業パークマネジメント	都市農業公園のはちみつ

新規の取り扱い商品で特筆すべきものとして、足立区の NPO 法人 あだち菜うどん学会の「あだち菜乾麺」と体験型有機農業パークマネジメントの「都市農業公園のはちみつ」があげられます。区の名産であるあだち菜を生地に練り込んだ「あだち菜生麺」が区内の飲食店や小学校、介護施設などで提供されています。ミュージアムショップではお土産用に作られた乾麺を販売しました。また、都市農業公園のはちみつの取り扱いも開始しました。これらのように、足立区内の法人や施設で作られた商品をミュージアムショップで取り扱うことで、足立区ならではのショップとして商品を売り出していきたいと考えております。

② イベントと連携した商品

8月より、金魚すくいイベントに伴い「さんそを出す石」という飼育用品を販売しました。生物園から金魚を持ち帰る際の酸欠防止用にご利用いただけるようお客様に呼びかけ、イベント期間限定で販売しました。大変多くのお客様にお買い求めいただき、8月、10月のどちらのイベントも期間中に完売しました。金魚すくいを楽しいだけで終わりにせず、持ち帰る金魚のいのちを大切にしようという呼びかけとして効果があったと言えます。

③ 生物園オリジナル商品の開発・販売

施設オリジナルの商品は、そこで体験したことを記憶に留めたり、自宅に帰ってから思い出してもらったりする上で、効果が高いといわれています。また、「ここでしか買えない」という限定感からお土産としても好評です。今年度も、生物園の資源やアイデアを活かし、オリジナル商品の開発に取り組みました。

7月に、園で飼育するミツバチが集めたはちみつを販売しました。はちみつを購入するために朝一番で来園して下さるお客様や、自分用とお土産用にと複数個購入して下さるお客様も多く、3か月経たずに完売しました。園で採れたはちみつの販売は今年で4回目です。お客様からは、「毎年楽しみにしています」、など、多くの反響が寄せられました。

生物園で飼育しているミゼットホースとケツメリクガメの「うんち」を使ったハガキセットを発売しました。この商品は、「うんち」を集めるところから、洗って繊維を取り出し、紙

ですいてハガキにするまでの工程を、スタッフがすべて手作業で作成しております。臭い、汚い、などのマイナスのイメージが強い「うんち」から生きものの様々な生態を学ぶことができる環境教育的商品として商品化するに至りました。ハガキができるインパクトの強さから、商品に興味を持って下さるお客様が非常に多く見られます。そこから、商品の作り方や生きものの生態の話に繋がり、ショップ内でも簡単なインタープリテーションをすることができます。

3.利用促進のための取り組み

(1) 生物園スタンプキャンペーン

足立区生物園の入園者数は年間を通してみると、季節によって増減があります。特に梅雨とかさなる6～7月と、気温の低下する1～2月は毎年月当たりの入園者が落ち込みやすいです。そこで年間を通して入園者を安定させるため、梅雨時期と冬期のそれぞれ2か月間に生物園スタンプキャンペーンを実施しました。

キャンペーン中は来園1回につき1個スタンプを押し、集めたスタンプの数に応じてプレゼントを贈呈しました。梅雨時期の雨の日、冬期の寒い日はスタンプが2倍となります。

(2) 生物園・東武動物公園

年パス所持者特典相互減免キャンペーン

12月1日～2月12日の間、生物園と東武動物公園の年間パスポート所持者を対象に、相互に入園料の減免を行いました。期間中の年パス購入者も23%増となり、利用促進、PR効果はあったと考えられます。

冬期の閑散期ではありますが、両施設でのイルミネーションや年末年始を含む期間であるため、今後も同様のキャンペーンを行っていきます。

(3) お年玉くじキャンペーン

ミュージアムショップの利用促進のため、1月2日よりレシートを利用したお年玉くじキャンペーンを実施しました。ショップでのお買い上げ1,000円分のレシートで、1回くじを引くことができます。景品は生物園の年間パスポートや今年の干支である犬のキーチェーン、オリジナル缶バッジなどを用意しました。開始から6日で100個の景品が終了しました。

Ⅲ 展示解説業務

1. 展示解説実施および対応実績

生物園・元湊江公園を活用し、数々の催しを開催しました。自主事業では生物園のテーマ「ふれあい・いのち・共生」を踏まえた内容のプログラムを行いました。当日募集のプログラムの中には、未就学児でも楽しめる「ふれあいプログラム」と、生きものに関心や興味を持った方を対象にした「導入型プログラム」の性質が違う2つのプログラムを行いました。また事前募集のプログラムでは生きものや自然により深い興味・関心を持たせる「発展型プログラム」を行いました。

団体向けには通常の生物園内での団体向けプログラムを中心とした団体対応や、小学校へスタッフが赴きプログラムを行う出張授業を行うなど、団体利用を促進しました。

また職場体験やインターンなど中学校や大学・専門学校などで行われる総合学習に対しても積極的に対応を行いました。

生物園以外の施設と連携した施設連携も積極的に行い、園内のプログラムはもちろん他施設へ出張して行うプログラムも行い、お互いの利用促進に努めました。

また区民に向けては生物園・元湊江公園で活動を行うボランティアを飼育系と解説系、公園管理系の3つを運営し活動を行いました。

生物園・元湊公園の魅力やレジャー機能を向上させるために、魅力的な常設展を展開し、また定期的に特別展・企画展を開催することで飽きずに楽しめる運営を心がけました。

平成29年度イベント開催数など

番号	事業	回数	応募者数	参加者数	備考
1	当日募集	72	0	303,507	
2	事前募集	13	794	480	
3	団体対応	7	0	8,758	} 団体対応
4	出張授業	16	0	1,362	
5	総合学習	41	0	96	
6	施設連携	17	0	13,662	
7	ボランティア	3	0	43	登録人数
8	特別展	6	0	0	
9	企画展	26	0	0	
	合計	201	794	327,908	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。

平成 29 年度当日募集イベント開催数

番号	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	当日募集				
1	カニ釣り	1		42,605	毎日開催
2	きっずルーム	1		14,481	毎日開催
3	哺乳類のふれあいコーナー	1		102,981	毎日開催
4	飼育員のおススメ	1		224	毎週第1土曜日開催
5	ヒツジのショー	1		603	毎週第1土曜日開催
6	魚のごはん	1		15,944	毎日開催
7	昆虫のごはん	1		4,218	毎日開催
8	チョウを放そう	1		6,955	毎日開催
9	爬虫類のごはん	1		8,274	毎日開催
10	公園ツアー	1		211	毎週第1日曜日開催
11	うらがわ探検ツアー	1		190	毎週第2日曜日開催
12	ニシキヘビと記念撮影	1		727	毎週第3日曜日開催
13	まーしー園長のガイドツアー	1		257	毎週第4日曜日開催
14	生きものガイド	1		360	毎週第2第4土曜日開催
15	ちびっこプログラム	1		430	毎週水曜日開催
16	うたの生きもの探し	1		353	うたの中のいきもの展連動プログラム
17	生きものタッチ	1		14,792	春のふれあい展連動プログラム
18	荒川カルタ	1		823	水辺の生きもの展連動プログラム
19	水辺の生きものふれあい	1		222	水辺の生きもの展連動プログラム
20	標本解説	1		3,178	標本展連動プログラム
21	昆虫探し	1		9,959	夏だ！生きもの捕りに行こう！展連動プログラム
22	金魚すくい練習	1		89	金魚展連動プログラム
23	うんちの落とし主探し	1		16,445	うんち展連動プログラム
24	うんちのにおい	1		1,140	うんち展連動プログラム
25	カメになってだませ！	1		1,649	だまされた展連動プログラム
26	生きものを探せ！	1		4,103	だまされた展連動プログラム
27	生きものたちでだませ！	1		2,147	だまされた展連動プログラム
28	カブトムシ・クワガタムシにさわろう	1		1,649	カブトムシ・クワガタムシ展連動プログラム
29	ゴキブリたち！	1		252	ゴキブリ展連動プログラム
30	金魚すくい	1		9,158	
31	クリスマス馬車で記念撮影	1		355	
32	タッチプール	1		11,404	
33	ヒツジの毛刈り	1		100	
34	ミツバチの飼育	1		263	
35	ガチョウパレード	3		90	移動動物園
36	ネパールワシミミズクと記念撮影	1		80	移動動物園
37	ヒヨコのふれあい	1		120	移動動物園
38	アルパカと記念撮影	1		574	移動動物園
39	新春！戌年ドッグショー	1		300	
40	昼のホタル観賞会	1		3,657	
41	生きものにクリスマスプレゼント！	1		21	
42	金魚観賞の極意	1		3	
43	出張プラネタリウム	1		691	
44	レザーアニマルクラフト	1		444	

45	オリジナルキャンドルづくり	1	530	
46	生物園の生きものはんこづくり	1	487	
47	こどもクイズ王選手権	1	32	
48	ポニー乗馬	1	525	
49	らんちゅう倶楽部	1	2,268	
50	はじめての飼育「ダンゴムシ」	1	21	
51	チョウの飼育体験	1	5	
52	体験！生きものふれあい教室	1	32	
53	スポットガイド	1	72	
54	うんちで紙すき	1	130	
55	虫のうんちで染め物	1	27	
56	粘土でうんち作り	1	57	
57	コオロギ相撲	1	20	
58	さくらコンサート	2	89	さくらフェスティバル
59	寄せ植え教室	1	7	さくらフェスティバル
60	花卉販売	1	70	さくらフェスティバル
61	鳴く虫コンサート	1	139	鳴く虫night
62	虫の音観賞会	1	260	鳴く虫night
63	お抹茶でおもてなし	1	66	鳴く虫night
64	樹木医デモンストレーション	1	9	さくらフェスティバル
65	ゲンジボタルの観賞会	1	9,709	
66	ホタルのガイドツアー	1	1,098	
67	冬のホタル観賞会	1	4,790	
68	ナイトツアー「熱帯の世界」	1	468	
69	クリスマスコンサート	1	75	
	小 計	72	303,507	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。実際の開催数は「自主事業の実施」の項目を参照してください。

平成29年度事前募集イベント開催数

番号	名称	回数	応募者数	参加者数	備考
	事前募集				
1	春の海で生きもの採り	1	75	41	
2	家族ではちみつ搾り	1	165	23	
3	家族で釣り教室	1	66	42	
4	カブトムシを育てよう！	1	75	25	
5	生物園に泊まろう！	1	48	29	
6	セミの羽化観察会	1	53	34	
7	足立で昆虫採集！	1	19	17	
8	解剖！魚の研究会	1	21	19	
9	夜のカエル観察会	1	33	26	
10	スズムシ飼育教室	1	26	15	
11	ヒツジの毛でクラフト	1	20	19	
12	わんちゃんしつけ教室	1	53	50	
12	Dreamnight at the zoo 2017 生物園	1	140	140	
	小 計	13	794	480	

平成 29 年度団体対応開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	団体対応				
1	ウェルカムトーク・お見送りトーク	1		5,441	年間数回実施
2	クイズラリー	1		2,543	年間数回実施
3	生物園ガイド	1		245	年間数回実施
4	チョウの一生	1		70	
5	生きものふれあい	1		352	年間数回実施
6	インタープリテーション概論	1		20	
11	教員向け講座	1		87	年間数回実施
	小 計	7	0	8,758	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を 1 回にまとめて計上しております。実際の開催数は「団体対応」の項目を参照してください。

平成 29 年度出張授業開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	出張授業				
1	チョウの飼育体験教室	6		466	年間数回実施
2	モルモットと仲良くなろう	3		444	年間数回実施
3	校庭の生きもの観察	7		452	年間数回実施
	小 計	16	0	1,362	

平成 29 年度総合学習開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	総合学習				
1	職場体験	17		39	対応者数
2	職場訪問	8		30	対応者数
3	インターン	12		16	対応者数
4	学芸員実習	4		11	対応者数
	小 計	41	0	96	

平成 29 年度ボランティア登録人数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	ボランティア				
1	昆虫飼育ボランティア	1		34	登録人数
2	生きものふれあいボランティア	1		5	登録人数
3	公園管理ボランティア	1		4	登録人数
	小 計	3	0	43	

平成 29 年度施設連携開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	施設連携				
1	放課後シアター「ミクロの世界におじゃま〜す」	1		1,500	
2	へびの抜け殻でしおり作り inギャラク	1		42	
3	虫のうんちで染めもの！inギャラクシティ	1		25	
4	出張生物園「ギャラクシティ」	1		486	
5	ホテルnightブラネタリウム「ギャラクシティ」	1		129	
6	秋のブラ音(ホ)タリウム〜虫の音night〜「ギャラクシティ」	1		675	
7	出張生物園「しょうぶ祭り」	1		2,526	
8	出張生物園「パサージュオ西新井」	1		2,520	
9	出張生物園「環境フェア」	1		953	
10	出張生物園「舎人公園」	1		3,304	
11	出張生物園「環七・加平ハウジングギャラリー」	1		41	
12	ドキドキミステリーツアー	1		273	
13	出張生物園「大谷田公園梅まつり」	1		1,006	
14	竹ノ塚地域学習センター 子どもお仕事まつり	1		15	
15	東京藝術大学アウトリーチコンサート	1		118	
16	都市農業公園「畑でチョウ探し」	1		22	
17	都市農業公園「畑のチョウを育ててみよう」	1		27	
	小 計	17	0	13,662	

平成 29 年度特別展・企画展開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	特別展				
1	うたの中の生きもの展	1			生きもの研究室
2	生きものタッチ展	1			生きもの研究室
3	夏だ！生きもの捕りに行こう！	1			生きもの研究室
4	金魚展	1			生きもの研究室
5	うんち展	1			生きもの研究室
6	だまされた展	1			生きもの研究室
	企画展				
1	エイプリルフール展	1			園内全体
2	生物園のお父さんを探そう	1			園内全体
3	水辺の生きもの展	1			生きもの研究室
4	標本展	1			生きもの研究室
5	生物園の母の日展	1			休憩コーナー
6	身近な生きものの飼い方	5			休憩コーナー
7	生物園のハロウィン展	1			休憩コーナー
8	生物園のクリスマス展	1			休憩コーナー
9	生物園のお正月展	1			休憩コーナー
10	生物園のパレンタイン展	1			休憩コーナー
11	ハンターな虫たち展	1			むしむしコーナー
12	虫のようちえん展	1			むしむしコーナー
13	虫の親子関係展	1			むしむしコーナー
14	カブトムシ・クワガタムシ展	1			むしむしコーナー
15	鳴く虫展	1			むしむしコーナー
16	ゴキブリ展	1			むしむしコーナー
17	沖縄の虫たち展	1			むしむしコーナー
18	チョウの蝶能力	1			チョウの飼育室
19	チョウを探しに出かけよう	1			チョウの飼育室
20	チョウの自由研究	1			チョウの飼育室
21	いもむし大集合	1			チョウの飼育室
22	いもむし大集合～結果発表～	1			チョウの飼育室
23	ツシマウラボシシジミの保全	1			チョウの飼育室
24	七夕	1			であいの広場
25	クリスマス	1			であいの広場
26	ひな祭り	1			であいの広場
	小計	36			

また、これらの展示解説業務の他にも、来園者に対して質問・相談や展示解説を直接聞くレジャータークを実施する場面を多く提供しました。解説員の常駐する生きもの研究室中心に実施し、解説はもちろん質問や相談の対応も行いました。本年度は年間 49,763 回 122,099 人に実施しました。

レジャータークの年間対応数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数(回)	3,770	4,548	4,615	4,149	5,493	3,774	3,808	4,102	4,251	2,983	2,902	5,368	49,763
対応人数(人)	9,532	11,547	11,943	10,298	13,791	9,318	8,768	9,729	11,178	7,566	7,284	11,145	122,099

2. 夜間特別開園の実施

(1) ホタル見 night!の夜間特別開園

6月2日から18日の金・土・日曜には特別イベント「ホタル見 night!」として夜間特別開園を行い、9日間で5,637人の来園がありました。実施中は18:00-21:00までの特別夜間開園のほか、大型展示ケースを使った室内での展示「ゲンジボタルの観賞会」を目玉企画として行いました。またホタルにちなんだ展示や「ホタルのガイドツアー」も行い、充実したイベント開催を目指しました。

「ホタル見 night!」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	実施回数(回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
ゲンジボタルの観賞会	6月2日～6月18日の金・土・日	9	6,029	3,680	9,709
ホタルのガイドツアー	6月2日～6月17日の金・土・日	8	687	411	1,098
	計	17	6,716	4,091	10,807

(2) 光の祭典夜間特別開園

12月2日～12月25日まで元渚江公園で開催される「光の祭典」にあわせ、土・日・祝日に夜間特別開園を行い、9日間で8,711人の来園がありました。昨年度に続けて「冬のホタル観賞会」と「ナイト特別イベントの開催内容を実施しました。

内容	実施日	実施回数(回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
冬のホタル観賞会	12月2日～12月25日の土・日・祝	9	2,931	1,859	4,790
ナイトツアー「熱帯の世界」	12月2日～12月25日の土・日・祝	9	262	206	468
クリスマスコンサート	12月24日	1	45	30	75
	計	19	3,238	2,095	5,333

3. 自主事業の実施

(1) 特別イベント

年に数回大規模なテーマを定めた特別なイベントを行いました。テーマに合ったプログラムをまとめることで、異なるテーマや異なる対象で生物園や元渚江公園を楽しめるよう工夫しました。

「光の祭典」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	対応人数(人)			
		大人	小人	合計	
さくらフェスタ	さくらコンサート	4月1日	15	1	16
	寄せ植え教室	4月1日,2日	5	2	7
	花卉販売	4月1日,2日	50	20	70
Dreamnight at the zoo 2017 生物園		9月2日	75	65	140
鳴く虫night!	鳴く虫コンサート	9月23日	82	57	139
	虫の音観賞会	9月23日	140	120	260
	お抹茶でおもてなし	9月23日	42	24	66
さくらフェスタ	さくらコンサート	3月31日	50	23	73
	樹木医デモンストレーション	3月31日	7	2	9
計			466	314	780

本年度は3種類の特別イベントを行いました。春の「さくらフェスタ」では、夜桜のライトアップ、さくらがテーマの歌を中心としたナイトコンサート、さくらの木を使った樹木診断などを行いました。秋の「鳴く虫night!」では「音を楽しむ」をテーマに、音の仕組みや音を出す理由を解説したコンサートや、庭園における鳴く虫観賞会を行いました。「Dreamnight at the zoo」では、障害をお持ちのお子さんとそのご家族を生物園に招待し、特別なふれあい体験などを行いました。

10月29日に予定されていた「わんフェス」は台風のため中止となりました。

(2) ふれあいプログラム

ふれあいプログラムは当日募集で、来園者が生きものにふれたり、餌やりを見ることができるプログラムです。このように直接的にさわる、見るなどの体験は、未就学児のような低い年齢層の来園者にも、効果的に興味や関心を引き出すことができます。

ふれあいプログラム内容一覧

内容	実施日	実施回数	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
カニ釣り	毎日	261	19,872	22,733	42,605
きっずルーム	毎日	318	7,017	7,464	14,481
哺乳類のふれあいコーナー	毎日	318	47,238	55,743	102,981
金魚すくい	年間数回	9	4,578	4,580	9,158
クリスマス馬車で記念撮影	12月23日、24日	2	141	214	355
タッチプール	7月21日～8月31日	42	4,957	6,447	11,404
チョウを放そう	毎日	315	3,233	3,722	6,955
ヒツジの毛刈り	5月14日	1	60	40	100
ヒツジのショー	毎月第1土曜日	9	315	288	603
飼育員のおススメ	毎月第1土曜日	12	101	123	224
魚のごはん	毎日	517	7,577	8,367	15,944
昆虫のごはん	毎日	296	1,566	2,652	4,218
ミツバチの飼育	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)	22	128	135	263
爬虫類のごはん	毎日	367	4,272	4,002	8,274
ガチョウパレード	6月11日	1	50	40	90
ネパールワシミズクと記念撮影	6月11日	1	40	40	80
ヒヨコのふれあい	6月11日	1	0	120	120
アルパカと記念撮影	2月25日	1	286	288	574
新春！成年ドッグショー	1月7日	1	164	136	300
カブトムシ・クワガタムシにさわろう	7月22日～9月3日(土日)	15	766	883	1,649
ゴキブリたっち！	10月14日～11月12日(土日)	11	106	146	252
うたの生きもの探し	4月1日～2日	2	45	308	353
生きものタッチ	4月5日～5月14日	35	6,291	8,501	14,792
荒川カルタ	5月17日～7月9日	40	283	540	823
水辺の生きものふれあい	5月17日～7月9日	14	67	155	222
標本解説	5月17日～7月9日	37	1,485	1,693	3,178
昆虫探し	7月15日～9月24日	65	3,181	6,778	9,959
金魚すくい練習	10月8日、9日、28日、29日	4	16	73	89
うんちの落とし主探し	11月8日～1月28日	68	4,394	12,051	16,445
うんちのにおい	11月8日～1月28日	29	331	809	1,140
カメになっただませ！	1月31日～3月31日	53	535	1,114	1,649
生きものを探せ！	1月31日～3月31日	53	1,586	2,517	4,103
生きものたちでだませ！	1月31日～3月31日	53	678	1,469	2,147
計		2,973	121,359	154,171	275,530

本年度は33種類のふれあいプログラムを行い、計2973回実施し275,530人に対応を行いました。各種生きものの「ごはんの時間」は時間をずらして開催することで、いつ来園しても楽しめるようにしました。

「カブトムシ、クワガタムシにさわろう」では、国産と外国産を比較しながらさわったり、間近で観察することができ、多くの来園者が参加しました。

また海の生きものタッチプールでは123種の海の生きものふれあい体験を行いました。定番のヒトデから、普段さわる機会のないナマコなど多様な生きものを解説付きでさわることができ、大盛況となりました。終了後も多くの問い合わせがあり、来年度も継続して実施します。

(3) 導入型プログラム

導入型プログラムは当日募集で気軽に楽しめるプログラムで、生きものに関心や興味を持った方をターゲットとしています。

導入型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
公園ツアー	毎月第1日曜日	13	96	115	211
生きものガイド	毎月第2・4土曜日	25	135	225	360
まーしー園長のガイドツアー	毎月第4日曜日	13	121	136	257
ちびっこプログラム	毎週水曜日※祝祭日、夏休みを除く	40	205	225	430
うらがわ探検ツアー	毎月第2日曜日	12	91	99	190
昼のホテル観賞会	6月24日～7月9日(土日祝)、1月2日～5日	10	1,959	1,698	3,657
生きものにクリスマスプレゼント!	12月23日	1	0	21	21
金魚観賞の極意	10月15日	1	3	0	3
出張プラネタリウム	7月1日、2日	2	278	413	691
レーザーアニマルクラフト	5月6日、7日	2	209	235	444
オリジナルキャンドルづくり	7月29日、30日、12月9日、10日	4	265	265	530
生物園の生きものはんこづくり	9月30日、10月1日	2	218	269	487
こどもクイズ王選手権	1月8日	1	0	32	32
ポニー乗馬	2月4日、18日、3月11日	3	0	525	525
らんちゅう倶楽部	4月23日、8月20日、9月17日、10月15日	4	1,194	1,074	2,268
はじめての飼育「ダンゴムシ」	4月30日	1	11	10	21
ニシキヘビと記念撮影	毎月第2日曜日	12	357	370	727
チョウの飼育体験	不定期	3	0	5	5
体験! 生きものふれあい教室	2月12日	1	1	31	32
スポットガイド	終日随時	5	23	49	72
うんちで紙すき	11月23日	1	52	78	130
虫のうんちで染め物	11月23日	1	9	18	27
粘土でうんち作り	11月23日	1	23	34	57
コオロギ相撲	11月3日	1	2	18	20
計		159	5,252	5,945	11,197

本年度は年間で計159回実施し11,197人に対応を行いました。定期的で開催されるプログラムは5種類あり、生きものガイド、ちびっこプログラムなど全てが毎回テーマを変えて行っているプログラムで来るたびに新しい楽しみがあります。

本年度より、ちびっこプログラムの定員を5組に設定しました。人数を制限することで、参加者1人1人とじっくり関わることができ、未就学児に「原体験の場」を提供することができました。

生きものガイドは開始時間を11時から14時からに変更し、対象となる小学生が土曜日に授業があっても参加しやすくなりました。

(4) 発展型プログラム

発展型プログラムは事前募集で、より深く生きものや自然について学べるプログラムです。興味・関心の高い層をターゲットとしており、人との共生を考える内容や、解剖などの高度なプログラムも行いました。

発展型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数	対応人数(人)			定員(人)	応募人数(人)	応募率
			大人	小人	合計			
春の海で生きもの採り	4月29日	1	21	20	41	40	75	188%
家族ではちみつ搾り	5月28日	1	11	12	23	20	165	825%
家族で釣り教室	7月17日	1	21	21	42	45	66	147%
カフトムシを育てよう!	7月23日	1	0	25	25	20	75	375%
生物園に泊まろう!	7月26日	1	0	29	29	25	48	192%
セミの羽化観察会	7月30日	1	17	17	34	30	53	177%
足立で昆虫採集!	8月6日	1	8	9	17	20	19	95%
解剖!魚の研究会	8月16日	1	0	19	19	20	21	105%
夜のカエル観察会	8月26日	1	11	15	26	30	33	110%
スズムシ飼育教室	9月10日	1	6	9	15	15	26	173%
ヒツジの毛でクラフト	3月21日	1	3	16	19	15	20	133%
わんちゃんしつけ教室	3月24日	1	39	11	50	60	53	88%
計		12	137	203	340	340	654	192%

本年度は年間で計 12 回実施し 340 人に対応を行いました。年間の総応募率は目標であった 120%を上回る 192%でした。

● フィールド観察プログラムの充実

新たに 3 つのフィールド観察プログラムを実施しました。生物園内にとどまらず、フィールドの中で生きものを観察する機会を増やすことで、身近な自然観察のきっかけの場を提供しました。

「春の海で生きもの採り!」では、都会のすぐ近くの海にも数多くの生きものが生息していることを実感し、そのおもしろさや大切さについて理解を深めることを目的に実施しました。小学生とその保護者 41 名が参加しました。神奈川県野島の磯場・干潟・アマモ場で生きもの探しを行い、合計 40 種類もの生きものを見つけられました。

「あだちで昆虫採集」では、足立区に生息する昆虫の採集を通して、身近な生きものと環境の多様性を感じ、昆虫への関心や理解を深めることをねらいとして実施しました。小学生とその保護者 17 名が参加しました。スタッフから昆虫採集のレクチャーを受け、「予想以上にいろいろな虫がとれた」「都会の中で様々な昆虫を捕まえることができ楽しかった」という声がありました。

「夜のカエル観察会」では、都市部に生息するカエルの生態を観察することで、身近な自然環境の重要性に気づいてもらうことをねらいとして実施しました。小学生以上 26 名が参加し、アズマヒキガエルが活動する夜間に庭園を歩きながら、カエルの行動を観察しました。参加者は気に入ったカエルがどのような動きをするのかじっくりと観察をしました。来年度も継続し、より満足度の高いプログラムができるように内容を検討します。

4. 区民協働活動の推進・支援

生物園は区民参加型の協働施設を目指しており、本年度も区民参加のボランティア活動を行いました。ボランティアは生物飼育の補助を行う「昆虫飼育ボランティア」と来園者への解説対応を行う「生きものふれあいボランティア」、本年度新設した公園の草花の管理を行う「公園花壇ボランティア」の3つのボランティアを運営しました。来年度も興味に合わせたボランティア活動が出来るように運営していきます。

(1) 昆虫飼育ボランティア

昆虫飼育ボランティアは、展示昆虫、餌用昆虫の飼育や、餌用植物などの管理を行うボランティアです。活動はボランティア登録者が任意の日付と時間を選び活動を行う通常の活動と、昆虫ドームなどの展示施設の整備を行う定期的な活動があります。また参加者向けの講習会なども行いました。

昆虫飼育ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他	内容	説明会	稚り飼育講習	安全	なし	昆虫採集	なし	なし	なし	なし	ツシマ	なし	ふりかえり	
	参加人数(人)	28	32	32		20					13		22	115
通常活動	回数	18	31	28	30	28	27	26	26	28	24	23	29	318
	参加人数(人)	51	76	60	65	55	60	48	50	50	47	49	52	663
														778

本年度は34人の登録があり、年間324回、のべ778人の参加がありました。活動により飼育や消耗品などの飼育補助や、植替えや害虫駆除など屋外での管理作業が充実しました。また講習会では飼育補助の技術を高めるための飼育講座を行いました。通常活動に加えてこれらの講習会を行うことで、活動意欲の向上につなげることができました。

(2) 生きものふれあいボランティア

生きものふれあいボランティアはふれあいプログラムの補助、展示解説活動を行うボランティアです。活動は開園日のうち登録者が任意の日付と時間を選び活動を行うものです。また年3回ずつ講習会と勉強会を行い、解説に必要な技術や安全管理の視点について伝えました。

生きものふれあいボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
その他 (第3週)	内容	説明会	解説講習会	安全管理	夏の展示	きつずルーム	秋の展示		冬の展示			ふりかえり			
	参加人数(人)	6	4	4	3	3	3	0	2	0	0	2	0	27	
通常活動	回数(回)	7	5	3	7	8	5	3	5	4	2	4	4	57	
	参加人数(人)	11	9	5	8	8	6	4	6	4	2	4	4	71	
														計	98

本年度は4人の登録があり、年間65回のべ98人の参加がありました。活動は来園者の多い土日祝を中心に行われ、ボランティア活動により、多くの来園者に充実したふれあい体験や解説を行うことができました。

出張授業の補助スタッフとしても活躍し、2校の小学校へ同行してもらいました。普段から生物園でふれあいプログラムの補助を行っているため、授業時の生徒への声掛けや生きものへの配慮を適切に行うことができました。

また、プログラムや展示の準備にも積極的に関わって頂き、来園者が楽しく過ごす空間作りにも力をいれました。来年度は活動内容をより充実させることを目標とし、出張生物園やプログラムにスタッフの補助としての参加を予定しています。

(3) 公園花壇ボランティア

公園花壇ボランティアは、元洲江公園内の花壇や草木管理を行うボランティアです。毎月第二木曜日を活動日とし、天候不良の際は同月内で変更しました。

公園花壇ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他	内容	説明会												
	参加人数(人)	4												4
通常活動	回数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	参加人数(人)		4	4	3	4	3	4	3	3	4	3	2	37
計														41

本年度は4人の登録があり、年間12回のべ41人の参加がありました。花壇の植え替えや除草など、草花の維持管理を行いました。今年度は天候に恵まれ、毎月実施できました。作業中は公園利用者から感謝のお声をいただくこともあり、活動意欲の向上にもつながったと考えられます。

5. 団体対応

生物園には幼稚園、小・中学校などの教育施設はもちろん、デイサービスなどの介護施設、一般団体など年間を通してたくさんの団体利用があります。本年度は1,025団体、計23,145人の利用があり、総来園者数の約11.1%を占めていました。これらの団体のうち希望のあった団体には解説員による団体プログラム対応を行いました。また、それ以外の団体対応として、園外へ出張して行う出張授業や、中学校・専門学校、大学への実習対応も行いました。

(1) 団体プログラム

園内でのプログラム対応を行った団体は、のべ108団体、計8,671人でした。小学校には、園内の見どころや注意事項を紹介する「ウェルカム・お見送りトーク」や「クイズラリー」等のプログラムを提供しました。なかでも本年度は様々な種類の生きものを観察し解答する「クイズラリー」が人気で、小学校から多くの要望がありました。

団体プログラム活動一覧

プログラム内容	回数 (回)	対応人数(人)		
		大人	小人	合計
ウェルカムトーク・お見送りトーク	62	465	4,976	5,441
クイズラリー	23	163	2,380	2,543
生物園ガイド	14	211	34	245
チョウの一生	1	6	64	70
生きものふれあい	6	38	314	352
インタープリテーション概論	2	20	0	20
計	108	903	7,768	8,671

(2) 出張授業

本年度も小学校を対象とした出張授業を行いました。結果、小学校 16 校に実施し対応人数は計 1,362 人でした。実施したプログラムは「校庭の生きもの観察」や「チョウの飼育体験教室」など、1、2 年生生活科や 3 年生理科の授業に合わせたものが多かったです。

出張授業活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
5月12日	足立区立千住第八小学校	チョウの飼育教室	3	98	101
5月16日	足立区立足立小学校	チョウの飼育教室	3	94	97
5月23日	足立区立本木小学校	チョウの飼育教室	85	2	87
6月2日	足立区立弘道小学校	チョウの飼育教室	2	47	49
6月6日	足立区立中川東小学校	チョウの飼育教室	2	48	50
6月8日	足立区立長門小学校1年	校庭の生きもの観察	3	41	44
6月8日	足立区立長門小学校2年	校庭の生きもの観察	2	44	46
6月8日	足立区立長門小学校3年	校庭の生きもの観察	2	57	59
6月8日	足立区立長門小学校4年	校庭の生きもの観察	2	55	57
6月8日	足立区立長門小学校5年	校庭の生きもの観察	2	67	69
6月20日	足立区立舎人小学校	チョウの飼育教室	2	80	82
9月25日	足立区立新田小学校	モルモットと仲良くなろう	0	245	245
9月26日	足立区立洲江小学校	モルモットと仲良くなろう	0	89	89
10月17日	足立区立西新井第二小学校	身近な秋探し	2	49	51
10月20日	足立区立青井小学校	校庭の秋探し	5	121	126
10月23日	足立区立千寿小学校	モルモットと仲良くなろう	4	106	110
合計 16団体			119	1,243	1,362

(3) 教職員向け講座

小学校の教員を対象とした講座を用意しました。本年度は 2 回 87 人に対応を行いました。昨年度からの継続実施のほか、新規に足立区理科部会の対応を行いました。教員からの要望として、校庭で見られる生きもの観察方法を季節ごとに紹介しました。

教員向け講座活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
9月13日	墨田区立小学校理科部会	校庭で見られる生きもの	20	0	20
1月10日	足立区立小学校理科部会	校庭で見られる生きもの	67	0	67
合計 2団体			87	0	87

(4) 実習対応

本年度は職場体験・訪問、インターン、学芸員実習と 4 種類の対応を行いました。

① 職場体験

職場体験は、17 校 39 人に対応を行いました。実施中は園内のいくつかの業務を数日に分けて体験することができ、各種飼育や解説業務（プログラム・展示作成）などを体験しました。また体験後はそれぞれの適正に気付き将来設計に役立てられるよう振り返りを行いました。

職場体験対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
足立区立第五中学校	6月22日	2	3	6
足立区立第九中学校	6月27日	2	3	6
足立区立谷中学校	6月28日	3	3	9
足立区立伊興中学校	6月29日	2	3	6
足立区立竹ノ塚中学校	7月11日	3	3	9
足立区立第四中学校	7月11日	2	3	6
足立区立第十中学校	7月13日	1	3	3
足立区立栗島中学校	9月5日	3	3	9
足立区立第十一中学校	9月6日	2	3	6
足立区立花畑北中	9月19日	2	2	4
足立区立花保中学校	9月27日	3	3	9
足立区立花畑中学校	9月28日	2	3	6
足立区立伊興中学校	10月30日	3	1	3
足立区立西新井中学校	11月21日	2	3	6
足立区立東綾瀬中学校	11月28日	3	3	9
足立区立千寿桜堤中学校	11月29日	2	3	6
足立区立第十三中学校	2月6日	3	3	9
			40	112

② 職場訪問

職場訪問は8校30人に対応を行いました。ほとんどが動物園や水族館に関心のある生徒で、「生きものを仕事にする上で大切な事は何か？」など仕事に関する様々な質問に対応しました。

職場訪問対応一覧

実施対象	実施日	対応人数(人)	
		対応人数	のべ対応人数
都立葛飾総合高校	4月14日	4	4
小山町立北郷中学校	5月11日	4	4
足立区立花畑北中学校	6月6日	2	2
足立区立栗島中学校	9月6日	7	7
岡山県立岡山操山中学校	11月8日	4	4
足立区立東島根中学校	1月26日	3	3
足立区立第五中学校	2月1日	3	3
足立区立花畑中学校	2月6日	3	3
計		30	30

③ インターン

インターンは専門学校や大学など12回16人に対応を行いました。全ての学生が生物学や飼育を専門にしている、キャリアアップのために実践的な飼育や解説体験を行いました。

インターン対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
玉川大学	8月1日	10	1	10
東邦大学	8月14日	10	3	30
日本大学	8月14日	10	1	10
日本獣医生命科学大学	9月13日	7	1	7
国際動物専門学校	10月2日	20	2	40
専門学校日本動物21	10月9日	5	1	5
国際動物専門学校	10月9日	13	1	13
国際動物専門学校	10月16日	19	2	38
川原学園東京動物専門学校	10月18日	14	1	14
川原学園東京動物専門学校	11月1日	14	1	14
埼玉海洋動物専門学校	2月25日	14	1	14
東京海洋大学	3月11日	7	1	7
計			16	202

④ 学芸員実習

学芸員実習は大学での学芸員資格を取得するために必要な実習で、1回11人に対応を行いました。実習では博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験実習を行いました。

学芸員実習対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日数)	対応人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
帝京科学大学	8月25日	10	7	70
東京農業大学	8月25日	10	2	20
日本大学	8月25日	10	1	10
明治大学	8月25日	10	1	10
計			11	110

6. 展示による解説

(1) 常設展

観察展示室「水族展示エリア」「両生類・爬虫類エリア」の改修に伴い、新しい展示を開始しました。オオカミウオなど冷水域の生きもの、オオグソクムシなど深海域の生きもの、インドシナウォータードラゴンなど熱帯域の生きものなどを展示しました。

また、種名板へのQRコード導入に伴い、デザインを変更しました。QRコードを読み込むとホームページの「生きもの情報」のページへつながり、より詳細な情報を見ることができます。今後は多くの種名板への導入を進めます。



深海の水槽・冷水の水槽



QRコードつき種名板

(2) 企画展・特別展

来園者にいつ来ても新鮮な内容で楽しめるように定期的に入れ替える展示を園内各所で行いました。

① 企画展

企画展は比較的小規模な展示です。本年度は26回の企画展を園内各所で行いました。本年度もむしむしコーナーや生きもの研究室で行われる企画展のほかに、季節や行事に合わせた「生物園のクリスマス展」や「ひな人形」などの展示を行いました。



鳴く虫展



お正月展

平成 29 年度企画展開催実績一覧

タイトル	展示場所	開始	終了
エイプリルフール展	園内全体	4月1日	4月1日
生物園のお父さんを探そう	園内全体	6月7日	6月18日
水辺の生きもの展	生きもの研究室	5月17日	7月9日
標本展	生きもの研究室	5月17日	7月9日
生物園の母の日展	休憩コーナー	4月25日	5月14日
身近な生きものの飼い方	休憩コーナー	—	4月23日
		5月16日	10月22日
		11月7日	11月27日
		1月30日	2月4日
		2月20日	—
生物園のハロウィン展	休憩コーナー	10月24日	11月5日
生物園のクリスマス展	休憩コーナー	11月29日	12月28日
生物園のお正月展	休憩コーナー	1月2日	1月28日
生物園のバレンタイン展	休憩コーナー	2月6日	2月18日
ハンターな虫たち展	むしむしコーナー	—	4月2日
		1月17日	—
虫のようちえん展	むしむしコーナー	4月5日	6月4日
虫の親子関係展	むしむしコーナー	6月7日	7月17日
カブトムシ・クワガタムシ展	むしむしコーナー	7月20日	9月3日
鳴く虫展	むしむしコーナー	9月6日	10月8日
ゴキブリ展	むしむしコーナー	10月12日	11月12日
沖縄の虫たち展	むしむしコーナー	11月15日	1月14日
チョウの蝶能力	チョウの飼育室	4月1日	5月31日
		2月27日	4月1日
チョウを探しに出かけよう	チョウの飼育室	4月1日	6月30日
チョウの自由研究	チョウの飼育室	7月1日	8月31日
いもむし大集合	チョウの飼育室	9月1日	11月27日
いもむし大集合～結果発表～	チョウの飼育室	11月29日	3月31日
ツシマウラボシジミの保全	チョウの飼育室	6月1日	10月31日
七夕	であいの広場	6月24日	7月7日
クリスマス	であいの広場	11月28日	12月28日
ひな祭り	であいの広場	2月24日	3月3日

② 特別展

特別展は特別イベントや特別な生体展示と合わせて開催される展示で、本年度は 6 回開催しました。全ての特別展が生きもの研究室全体を使って開催しました。

展示中は生体のふれあい等の体感できるハンズオン展示に力を入れました。特に「だまされた展」の「生きものでだませ！」「カメになってだませ！」では、家族や友人同士でだまし合って擬態を体感してもらいました。

平成 29 年度特別展開催実績一覧

タイトル	展示場所	開始	終了
うたの中の生きもの展	生きもの研究室	—	4月2日
生きものタッチ展	生きもの研究室	4月5日	5月14日
夏だ！生きもの捕りに行こう！	生きもの研究室	7月12日	9月24日
金魚展	生きもの研究室	9月27日	11月5日
うち展	生きもの研究室	11月8日	1月28日
だまされた展	生きもの研究室	1月31日	4月1日

また、「金魚展」では大人を対象にしたパネルを作成しました。品種改良など科学的、専門的な情報だけでなく、品評会や浮世絵など文化的、歴史的な情報も紹介し、大人の興味関心を引くような内容を心掛けました。

7. 印刷物による解説

(1) セルフガイド

セルフガイドは生物園の展示をより楽しめるような生きものなどに関する情報や家庭でできるプログラムや生きもの飼育についてまとめた配付物です。A4 白黒三つ折で、手軽に持ち帰ることができるようになっています。

No	セルフガイドタイトル	配布数												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	きらわれものいきものたち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	しいくシリーズ① カブトムシ	0	20	0	20	359	80	82	60	22	11	0	0	654	
3	バタフライ・ウォッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	イヌ 人として	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	流水の天使クリオネ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	
6	標本をつくらう！カブトムシ編	0	25	78	49	114	83	36	22	15	0	0	20	442	
7	荒川とそこにすむ魚たち	165	108	122	54	231	123	124	123	103	113	90	110	1466	
8	標本をつくらう！チョウ編	40	31	121	22	225	58	29	19	46	0	2	0	593	
9	魚の口じまん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	ハチのふしぎのせかい	44	91	52	20	86	88	90	18	0	0	0	0	489	
11	干潟のいきもの	38	0	37	13	90	3	0	0	0	0	0	0	181	
12	のぞいてみようミクロの世界	0	0	0	0	0	3	20	0	0	44	67	49	183	
13	ホテルのふしぎ	56	91	371	78	109	69	39	41	130	58	82	37	1161	
14	うんちのひみつ	29	23	0	20	40	50	60	211	80	64	94	32	703	
15	アリの世界	35	25	58	42	20	2	39	21	0	13	59	8	322	
16	水生昆虫大研究	87	118	123	46	60	23	0	0	0	40	115	119	731	
17	チョウのうんこ染めに挑戦	0	0	40	20	80	3	0	117	60	54	48	62	484	
18	鳴く虫のはなし	0	0	0	0	67	359	101	0	0	0	0	0	527	
19	カエルがわかる	20	80	85	51	84	3	0	72	54	24	84	46	603	
20	虫の冬ごし	0	0	0	0	0	3	0	22	46	105	62	58	296	
21	東京の生物多様性	0	20	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	23	
22	ハットおどろく菌のはなし	32	41	73	27	20	3	0	40	7	45	49	68	405	
23	生きもの伝説ウソ?ホント?!	20	0	0	0	0	3	0	20	20	20	21	0	104	
24	セミの観どころ 見分けどこ?!	0	0	20	20	120	41	0	0	0	0	1	0	202	
25	みつめてかんざつダンゴムシ	75	95	140	37	203	145	91	99	47	40	28	105	1105	
26	生きものっていい漢字!	0	0	0	0	0	43	0	2	38	0	20	78	181	
27	イモムシのエサさがし!	0	97	63	0	111	32	40	69	63	5	0	0	480	
28	むしとりしよう!	20	5	79	50	157	31	0	30	10	0	1	0	383	
29	金魚を飼う	69	700	217	72	522	122	325	54	64	25	29	113	2312	
30	とぶ飛ぶ跳ぶ生きもの	9	31	0	0	20	41	20	20	0	48	67	62	318	
31	カマキリを飼う	0	40	0	20	217	142	57	4	0	0	1	0	481	
32	ナミアゲハを飼う	108	123	243	48	212	152	115	133	107	111	54	120	1526	
33	虫たちの巣	4	0	20	0	0	21	0	0	0	60	1	12	118	
34	池で釣りしよう	10	68	62	51	47	81	36	66	90	13	33	20	577	
35	夜の生物園を楽しもう	10	10	540	0	0	51	0	60	100	1	0	0	772	
36	ゴキブリいろいろ★	58	102	64	36	0	41	120	80	60	1	0	0	562	
37	うたのなかの生きもの	30	0	0	0	33	44	26	0	0	0	0	0	133	
10	ハチミツとミツバチ	0	0	0	0	0	7	37	96	44	32	59	65	340	
38	カタツムリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	81	119	
39	熱帯と亜熱帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	
	合計	959	1944	2608	796	3227	1956	1487	1499	1206	927	1105	1287	19001	

本年度はセルフガイドを 19,001 部 配布しました。配布したセルフガイドの種類は 40 種類、うち 3 種類は新規に作成したものです。

新規に作成したセルフガイドは、はちみつ販売に連動した「ハチミツとミツバチ」、飼育方法や生態を紹介する「カタツムリを飼う」、大温室の体感のコツを紹介した「熱帯・亜熱帯の世界」です。「ハチミツとミツバチ」については、既存の「ハチのふしぎなせかい」と内容が重複する部分があるため、「ハチのふしぎなせかい」の配布終了後、同番号で入れ替えとしました。

(2) ニュースレター

ニュースレターは A4 両面フルカラーの印刷物で、表面は生物園の展示やプログラムなどのイベント案内を中心とした広報媒介ですが、裏面には解説的な内容を掲載しています。広報媒介に解説的な内容を織り込むことにより、ニュースレターをより読みたくなるようにしました。

ニュースレター裏面のコラム一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生きものみどころ情報	ビルマニシキヘビ	ヒツジ	シルバーアロワナ	タテハモドキ	モツゴ	シロモンオオサンガメ
解説員のひとりごと	春のおしごと	カナヘビとの真剣勝負!	夜空の生物園	自然の色	私が実際に体験した話です...	指乗りトンボ
ちょっとひといき	オタマジャクシならべ	まちがえがし	カタツムリ探し	食べあとクイズ	アマモの森探検	かくれた鳥をさがそう

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生きものみどころ情報	ミズクラゲ	パンケーキガメ	アイガモ	シマゲンゴロウ	マナマコ	カバタテハ
解説員のひとりごと	土のまわりの生きもの	バードウォッチングに出かけてみませんか?	カメラから見える景色	寒さに耐える	沈黙	春への準備
ちょっとひといき	どのイモムシの模様かな?	昆虫パズル	生きもの名前クイズ	間違い探し	生きものうらない	生きものなぞかけ

裏面の内容にはそのときに見ごろの生きものについて紹介した「生きものみどころ情報」、スタッフの目線で生きものや自然の楽しみ方を紹介する「解説員のひとりごと」、クイズやゲームなどのお楽しみ要素を生物園風に作成した「ちょっとひといき」の計3コラムを掲載しました。

生きものみどころ情報

アズマヒキガエル

英名 *Asiatic-brown toad*
学名 *Dabo japonicus formosus*

見どころ
あだちの生きもの観察室

生きものの特徴
ガマガエルとも呼ばれ、本州東北部を中心に広く生息しています。足立区でも庭や公園に住みつくことがあり、私たちにとって身近な生きものです。

観察ポイント **見逃すな! 一瞬の早わざ**
アズマヒキガエルは陸奥にいる。陸奥やミズなどを食べます。短い四肢でそとへ飛び出し、一瞬の早わざで舌を長く伸ばし、絡め取って食べてしまいます。獲物を飲み込む時は、必ず目をつむるので注目です。展示ケースの中にエサの昆虫が入っていたら、捕獲シーンを観察できるチャンスです。

解説員のひとりごと

夏の思い出

以前、実習生として生物園に来ていた時のことです。「セミの羽化を観察してやること」という課題が出ました。今までじっくり昆虫の観察をしたことがなかった私は、少し緊張しながら幼虫を家に持ち帰りました。



幼虫をカーテンにそっとなじませて様子を見始めると、朝から出てきて餌を舐めるまで、気づくことなく観察していました。いつも見るような茶色ではなく、白と黄緑色のからだはとも神秘的な見え方でした。その朝のセミの抜け殻は私の宝物になりました。

解説員 いたう あやか

ちょっとひといき

間違い探し

夏は虫捕りへ行こう!
左右の絵に5つの違いがあるの探してみよう。
答えは右下に書いてあるよ。



ご利用案内

開園時間: 9:30~17:00 (9:30~16:30)
休園日: 11月~1月
年間券: 22,000円 (小学生以下: 10,000円)
半額券: 30分 100円 / 22分 60円 / 8分 100円



足立区立生物園
TEL: 03-3884-5577
FAX: 03-3884-9996
E-mail: info@seibutsuen.jp
http://www.seibutsuen.jp/

生きものみどころ情報

ヤエヤマツダナナフシ

英名 *Ueguarania tendai adan*
学名 *Ueguarania tendai adan*

見どころ
観察場所: もじろしコーナー

生きものの特徴
石垣県、西表島に分布しています。夜行性で海岸近くのアダンやタコノキを食べて生活しています。刺激を受けることで体から独特な臭いの蒸気を噴射します。

観察ポイント **腕の先に注目**
ナナフシの竹筒には体が太く重量感のある体つきをしています。腕の先にツルツルのガラス管でも通らずすまみです。これは腕の先の爪留めと併せてこの筒が、滑り止めの役割を果たし、滑りやすい葉でも自分の体重を支える事ができるからです。ケースに盛り付けられているときはぜひ注目してみてください。

解説員のひとりごと

冬のカメラの調査は大変!

野外では冬になるとカメラの電池がなかなか持ちません。どこで待っているのでしょうか? そんな疑問から、私は真冬の川でカメラの生体調査をしています。



2017年2月の調査

探しの甲斐はあってシンプル。凍って川に入っている。手探りで冬寒のカメラを探します。長時間、指の感覚を最大限に研ぎ出し水中を探るので、この調査は特に暑いです! 手はかじかんで真っ赤になり、時には凍った深さまで川に入ることもあります。この時期暮さを獲めた甲斐あって、カメラを修理できました。

解説員 つじい まさの

ちょっとひといき

生きものを探そう!

クリスマス飾りの中に、3種類の生きものと生物園のある人物が隠れています。それはいったい何でしょうか?
※答えは下にあります。



ご利用案内

開園時間: 9:30~17:00 (9:30~16:30)
休園日: 11月~1月
年間券: 22,000円 (小学生以下: 10,000円)
半額券: 30分 100円 / 22分 60円 / 8分 100円



足立区立生物園
TEL: 03-3884-5577
FAX: 03-3884-9996
E-mail: info@seibutsuen.jp
http://www.seibutsuen.jp/

ニュースレター裏面レイアウト(左:8月号 右:12月号)

8. 連携事業

元湊江公園・生物園では周辺の地域や企業・団体と連携した施設運営を行うことで、地域に愛され利用される施設を目指しています。今年度もさまざまな連携を行いました。

(1) 元湊江公園・生物園利用推進協議会

元湊江公園・生物園利用推進協議会は地域の利用者や企業、団体、学校と意見交換会を行い、要望や意見を汲み取り利用促進やサービス向上につなげるものです。今年度もミュージアムショップが中心となって足立区の多様な企業とともに生物園のお土産を開発する「生物園お土産研究会」と、区内の教育施設の実務者と専門家による「教育利用研究会」を各2回開催しました。また、新たに元湊江公園の活性化につなげるため周辺町会との「地域利用研究会」を立ち上げました。

① お土産研究会

7月14日のお土産研究会は、「ワークショップ」をメインテーマとし、生物園で開催されるワークショップの概要や開催までの具体的な流れについてお話ししました。

また、ミュージアムショップがお客様に提供したい商品とは何かについて少しでも理解を深めていただけたらと思い、簡単なプログラムを行いました。

生物園が最も大切にしている「環境教育」について実際に体験しながら知ってもらうことで、今後の商品開発をより良いものにしていきたいと考えております。

また、研究会後には早速、生物園の素材を用いたワークショップの提案もいただきました。生物園ならではのワークショップとして開催できるよう、企画を進めてまいります。

2月23日のお土産研究会では、前回の研究会で提案をいただいたワークショップについて、より具体的な課題を見つけることを目的として、参加企業の方々にも体験していただきました。実際に手を動かしたり見学しながらの会だったため、参加者同士が積極的に意見を出し合ったり交流を深めることができました。

また、今年度商品化された「反射&蓄光 ホタルシール」、「羊毛ピンブローチ」「生物園のヒツジの毛&毛糸」「足立区生物園オリジナルストラップ」について、紹介と販売状況の報告を行いました。

終了後のアンケートでは、選択式の感想（複数回答可）が「区内他企業との交流を深めることができた」…9名「生物園という施設への理解が深まった」…7名「自社の事業を紹介することができた」…5名「生物園のお土産開発に協力したいと思った」…7名と、すべての項目を半数以上の企業が選択してくださったことから、非常に満足度が高かったことが伺えます。

② 教育利用研究会

6月27日に行われた教育利用研究会では、区内幼稚園保育園の園長、小中学校の教員、教育学が専門の大学教員による12名の委員が集まりました。保育園・幼稚園、小学校、中学校のそれぞれの教員と大学教員1名で3つのグループにわかれしました。各団体による利用状況や課題の確認を行った後、新規に開発するプログラムの方針を決めました。

1月16日に行われた研究会では、まず小学校向けプログラム「チョウの一生」を体験いただきました。その後、前回に続き新規プログラムのねらいや内容など具体的な開発を行いました。次回はさらなる具体化、試験的な実施を目指します。

委員の皆さまからはたくさんの意見をいただき、教育現場の現状や要望が多く見えてきました。

③ 地域利用研究会

3月1日に行われた地域利用研究会では、南保木間町会と東保木間町会の皆さま 名が集まりました。今回は生物園の概要説明と園内見学、さくらフェスティバルなどの連携例を紹介しました。委員からは「町会のイベントで利用したい」「回覧板による情報共有が可能」などの提案がありました。

(2) 地元企業との連携

生物園ではミュージアムショップを中心に、足立区の企業と連携した商品の開発や販売を行っています。今年度は新たに(株)ヨシオ、ニットキュア(株)、(有)村岡製作所との共同開発で、新しいオリジナル商品を開発しました。また、(有)篠原刃型、(株)安心堂によるワークショップも例年通り実施しました。

(株)ヨシオとの共同開発で「反射&蓄光 ホタルシール」を新発売しました。生物園の見どころの一つとして、ホタルの観賞会があります。そこで、昨年度はホタルにちなんだオリジナル商品の開発を目的として研究会を開催し、その研究会で出たアイデアを基に商品開発を進めました。ホタルといえば「光る」というイメージから、光るグッズを作ろうという展開になり、反射材などの防犯アイテムの製造を得意とする企業との共同開発を行い、本商品が誕生しました。

(有)村岡製作所は、プレス金型の設計・製作を行っている企業で、お土産研究会にも複数回参加して下さっています。自社の技術を使って自社製品を開発できないかと、アルミ製のチャームストラップを提案して下さいました。売れ筋のストラップ商品を多数取り扱っている現状の中、どのような商品展開が生物園らしいオリジナル商品として売り出していけるかを試行錯誤し、カプセルトイとして販売すること事にしました。オリジナルデザインと生物園のロゴマークが彫刻されたストラップに、解説文が載った用紙が付いています。地域新聞である足立朝日でも紹介され、「記事を読んで来ました」というお客様もいらっしゃいました。また、あだち広報のお年玉プレゼントの景品としても活用され、生物園ならではのアイテムとして一役買っています。

ニットキュア(株)は、ニットの修繕と加工をされている区内の企業です。以前より羊毛を使ったオリジナルグッズ開発に取り組んでくださっており、昨年度はヘアゴムを商品化しました。今年度は、昨年度実施したアンケート結果を基に、新しくピンブローチと羊毛、毛糸を商品化しました。生物園ではヒツジの毛刈りや羊毛を使ったプログラムを実施しています。本商品は、そういったイベントでの経験や思い出のアフターフォローとなる商品です。

(3) プログラム連携

展示やプログラムを園外の施設で行う出張形式のイベント連携だけでなく、園内で実施していただくプラネタリウムやコンサートなどのイベントも行いました。

① ギャラクシティとの連携

ギャラクシティは西新井にある児童文化・科学施設です。生物園に位置が近く、来園者の多くが未就学児や小学生とその保護者と利用層が近い施設です。しかし生物園の来園者はギャラクシティを周知していることが少なく逆も同様なため、お互いの連携を行うことで来園者増を狙うことができます。

本年度は昨年度に引き続き、相互プログラム・展示協力・プラネタリウムの番組撮影などを行いました。相互プログラムでは、生物園にて出張プラネタリウムを実施していただいたほか、ギャラクシティでは「ヘビの抜け殻でしおりづくり」、「虫のうんちで染めもの！」の2つのプログラムを実施しました。

また昨年度に引き続き、ギャラクシティのプラネタリウムにて上映するプログラム、放課後シアター「ミクロの世界におじゃましまーす」の撮影協力を行いました。

日付	内容	主催(実施場所)	参加者(人)		協力内容
			大人	小人	
7月2日 (土)	出張プラネタリウム	足立区生物園	138	206	プラネタリウム上映
7月3日 (日)	出張プラネタリウム	足立区生物園	140	207	プラネタリウム上映
7月22日 (日)	ホタルnightプラネタリウム	ギャラクシティ	129		生体貸出
9月16日～9月18日	プラ音(ネ)タリウム～虫の音night～	ギャラクシティ	273		生体貸出
11月4日 (土)	ヘビの抜け殻でしおり作り inギャラク	ギャラクシティ	0	42	プログラム実施
1月13日 (土)	出張解説員	ギャラクシティ	133	133	プログラム実施
1月14日 (日)	出張解説員	ギャラクシティ	110	110	プログラム実施
1月20日～2月25日	放課後シアター「ミクロの世界におじゃま〜す」	ギャラクシティ	1500		プラネタリウム上映
2月11日 (日)	虫のうんちで染めもの！inギャラクシティ	ギャラクシティ	0	25	プログラム実施

展示協力では「足立区生物園出張展示～生物園のいきものたち～」を開催し、展示と同時に生物園のパンフレットやセルフガイドの配布を行いました。また今年度も昨年に引き続き、「出張解説員」を実施しました。展示生物についての解説やふれあい体験などを通して生物園を疑似体験して頂くことで、認知度を高めることができました。

タイトル	展示場所	開始	終了
足立区生物園出張展示～生物園のいきものたち～	ギャラクシティ2階	1月13日	2月12日

② イベントとの連携

本年度も足立区主催のイベント等さまざまなイベントに協力を行いました。区内の公園や施設で実施されたイベントには出張生物園を行い、生物園の生きものの展示やふれあいからPRへ繋げました。

連携イベント一覧

日付	イベント	主催	開催場所	協力内容
4月1日～2日	千本桜まつり	足立区観光交流協会、足立区、東京都建設局、東京都交通局、(公財)東京都公園協会	舎人公園	出張生物園
5月14日 (日)	第回足立子どもまつり	足立子どもまつり実行委員会	元洲江公園	会場提供、告知など
5月20日～21日	地球環境フェア	足立区、足立区温暖化防止区民会議実行委員会	足立区役所本庁舎	出張生物園
6月3日～4日	しょうぶ祭り	足立区観光交流協会・足立区	しょうぶ沼公園	出張生物園
7月25日 (火)	ドキドキミステリーツアー	足立区地域文化課・シアター1010	足立区生物園	会場提供、プログラム提供など
8月19日 (土)	子どもお仕事まつり	竹ノ塚地域学習センター	竹ノ塚地域学習センター	飼育体験等のプログラム
11月4日 (土)	東京藝術大学アウトリーチコンサート	足立区地域文化課・東京藝術大学	足立区生物園	会場提供、告知など
12月2日～12月25日	光の祭典	足立区観光交流協会	元洲江公園・足立区生物園	夜間特別開園、ホテル観賞会など
3月4日 (日)	梅まつり	足立区公園整備課	大谷田公園	出張生物園

③ 区内商業施設との連携

区内の商業施設との連携も行いました。西新井の商業施設 西新井パサージュにて出張生物園を行いました。出張生物園は5月、8月、11月の3回土日に行い、モルモットなどの哺乳類とのふれあいや生物園の生きもの、標本を多数用意しました。生物園のポスター掲示やパンフレットなどの配布を行いました。あまり身近で見ることがない生きものとしてカメやヘビに人気があり、次いで水生の生きものにふれあいの要望がありました。

また、11月には新規のふれあい生体としてヤギを導入しました。

④ あだち自然の遊び場連携

あだち自然の遊び場における連携として、都市農業公園のイベントでプログラムを行いました。また、都市農業公園からは、さくらフェスタにて「出張朝市」に来てもらいました。今後は荒川ビジターセンターや桑袋ビオトープ公園とも積極的な連携を進めていきたいです。

日付	内容	主催(実施場所)	参加者(人)		協力内容
			大人	小人	
5月14日 (日)	畑でチョウの幼虫探し	都市農業公園	10	12	プログラム実施
6月18日 (日)	畑のチョウを育ててみよう	都市農業公園	14	13	プログラム実施
3月25日 (日)	都市農業公園 出張朝市	足立区生物園	—	—	出張朝市実施

⑤ 観光交流協会との連携

今年度も足立区観光交流協会実施の「竹の塚マップ&スタンプラリー」に協力しました。竹の塚を知り、愛着を育むことを目的としており、生物園ではマップの配布、スタンプラリーのポイント、景品の引換を行いました。昨年度に比べ、初めて生物園へ来園したという声があり、PRにもつながっていると考えられます。

VI 広報活動

1. メディア対応と掲載・放映の実績

(1) メディアへの情報配信

今年度は、計 21 種類の情報配信を行いました。毎月 1 回、各月のプログラム情報を定期配信した他、大きなイベントやショップの新商品については個別にプレスリリースを配信しました。配信先は、平成 30 年 3 月 31 日現在で 15 件です。次年度は、当園の情報配信を受け入れるメディアを増やし、より多くメディアへ露出するよう計画していきたいと考えています。

H29年度 情報発信記録

配信日	種別	リリース内容	配信先の数	備考
4月6日	定期配信	5月のプログラム情報	16件	
5月4日	定期配信	6月のプログラム情報	16件	
5月4日	プレスリリース	ホテル見night! プレスリリース	19件	
6月9日	定期配信	7月のプログラム情報	16件	
7月2日	定期配信	8月のプログラム情報	15件	
7月2日	プレスリリース	蓄光ホテルシールプレスリリース	19件	
7月5日	プレスリリース	ツシマウラボシンジミプレスリリース	4件	報道課送信分以外のメディア宛
8月3日	定期配信	9月のプログラム情報	15件	
9月1日	定期配信	10月のプログラム情報	15件	
9月1日	プレスリリース	鳴く虫night!プレスリリース	19件	
9月1日	プレスリリース	はちみつ搾り/販売のプレスリリース	19件	
10月3日	定期配信	11月のプログラム情報	15件	
11月1日	定期配信	12月のプログラム情報	15件	
11月10日	プレスリリース	オリジナルストラッププレスリリース	19件	
11月10日	プレスリリース	夜間特別開園in光の祭典プレスリリース	19件	
12月1日	定期配信	1月のプログラム情報	15件	
1月1日	プレスリリース	うんちハガキセット発売プレスリリース	19件	
1月1日	定期配信	2月のプログラム情報	15件	
2月2日	定期配信	3月のプログラム情報	15件	
2月14日	プレスリリース	生物園のヒツジの毛&毛糸プレスリリース	19件	
3月9日	定期配信	4月のプログラム情報	15件	

H29年度 情報定期配信先

NO	配信先名
1	ジェイコム足立
2	朝日新聞とうきょうマリオン
3	読売新聞 江東支局
4	東京新聞ショッパー さいたま支社
5	足立区観光交流協会
6	足立朝日
7	足立よみうり
8	足立経済新聞
9	株式会社 ぱど
10	読売新聞 シティライフ
11	竹ノ塚地域学習センター
12	保塚地域学習センター
13	サンケイリビング新聞社 東京本部
14	株式会社かみゆ(日経DUAL)
15	足立区福祉部親子支援課一人親家庭支援担当

(2) 掲載・放映実績

本年度は、175 件のメディア掲載・放映がありました（昨年度比 21 件減少）。内訳をみると全体では減少傾向にありましたが、WEBでの掲載件数が昨年に引き続き上昇しております。

区分別掲載・放映実績

	H29年度	前年比	H28年度	H27年度	H26年度
情報誌	70	0	70	65	69
新聞	29	-21	50	47	37
WEB	47	12	35	19	14
TV	16	-1	17	17	31
書籍	5	0	5	8	6
その他	8	-11	19	14	3
合計	175	-21	196	170	160

H29年度 情報誌への情報掲載実績

メディア名	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
あだち広報	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ばど	1	2	1	2	2	1	2	1	2	-	-	-	1	15
保塚地域学習センター 5月号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
竹の塚地域学習センター 5月号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
あんふあん	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
サンケイリビング「東京リビング」	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
サンケイリビング「TXリビング」	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
包括支援センター「保木間の和」	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋は千住が面白い！	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
まみたん	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
ギャラクシティNEWS	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
水族館びあ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
合計	6	7	5	7	6	7	7	6	6	4	4	5	70	

H29年度 新聞への情報掲載実績

メディア名	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
足立朝日	-	-	1	1	1	1	1	-	1	1	1	1	1	9
読売新聞 江東	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	5
足立よみうり	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	4
朝日らんたろう新聞	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
読売新聞	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
朝日新聞	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
日経新聞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
日本釣具新報	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
公明新聞	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
東京新聞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
都政新報	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	2
合計	4	2	2	2	3	2	2	1	4	2	3	2	29	

H29年度 WEBへの情報掲載実績

メディア名	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
いこーよ	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
YOMIURI ONLINE シティライフ	1	1	1	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	8
朝日新聞 DIGITAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
観光交流協会HP	-	1	1	-	1	-	1	1	1	-	1	-	-	7
るるぶ.com	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
足立経済新聞	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	3
楽天レジャー	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
いこーよ	-	-	1	-	2	1	1	1	2	1	1	1	1	11
Dokka	-	-	-	-	2	1	1	1	-	1	1	1	1	8
時事通信	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
AFP通信	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ちよりんぱ	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
YOMIURI ONLINE	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
足立よみうり(WEB)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ままでい	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
合計	2	2	7	2	5	4	6	4	6	3	3	3	47	

H29年度 TVへの情報掲載実績

メディア名	月												合計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ジェイコム「デイリーニュース」	1	1	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	5
ジェイコム「ねづちい散歩」	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
NHK 香川照之の昆虫ずいぜ！	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
幸せ！ボンビーガール	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
TOKYO MX	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3
TV朝日 報道ステーション	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
テレビ朝日「ミラクルナイン」	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
NHKニュースウォッチ9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
CSテレビ朝日「おじさん爆弾」	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
NHKKテレ「なりきり！むーにゃんの生きもの学園」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
合計	1	3	1	1	3	1	0	1	1	2	1	1	16	

H29年度 書籍への情報掲載実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
関東・東北じゃらん	1	1
足立本	1	1
まんがライフオリジナル	1	1
ピア刊行こどもとおでかけ365日	1	.	.	1
ディアゴスティーニ刊行「神社百景」	1	1
るるぶ刊行こどもとあそぼ首都圏版19'	1	.	1
合計	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	5

H29年度 その他への情報掲載実績

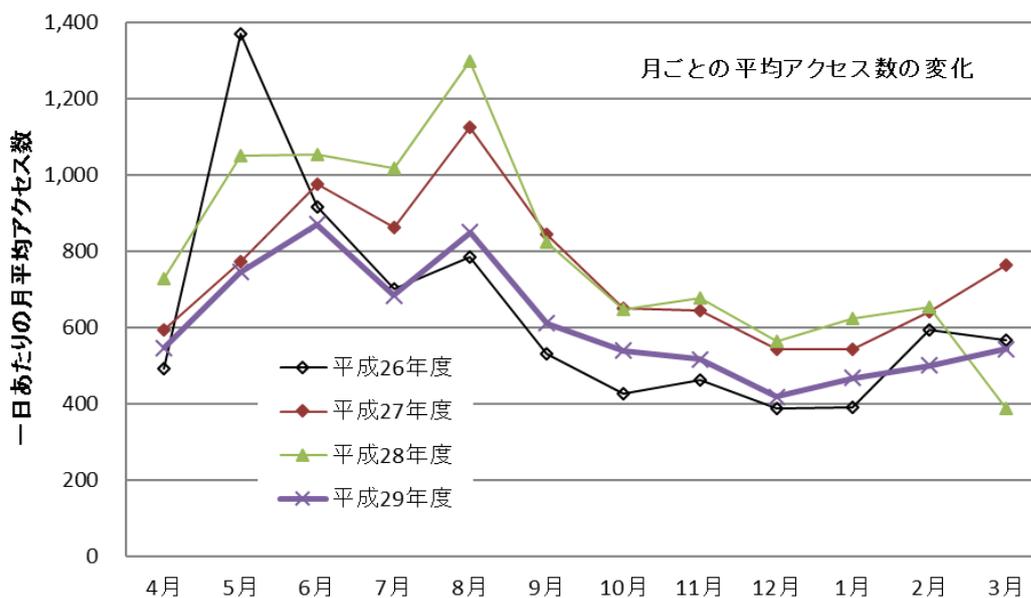
メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
JTB ニッポンの水族館	.	.	.	1	1
日経DUAL	1	1	2
TOBU GROUP報	1	1
足立区環境スタートブック	1	1
梅まつりチラシ	1	1
千本桜まつりパンフレット	1	1
豆の木メール	1	.	.	.	1
合計	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	4	8

2. ホームページによる情報発信

(1) ホームページのアクセス数

今年度のホームページアクセス総数は、222,085 件と昨年に比べ 68,013 件少ない結果となりました（昨年アクセス総数：290,098 件）。この大きな減少傾向は、年度変わりの際に実施したHPのリニューアルに伴ったアドレス変更が原因と推測されます。

本年度アクセスグラフを見ると 12 月から少しずつ右肩上がりになっていき、3 月には前年のアクセス数を越えました。これは、自身でイベント情報を書き込めるお出かけ情報サイト「いこーよ」や「Dokka」への投稿をマンスリーのルーチンとしたことで徐々にアクセスが回復しているのではないかと考えています。今後もそういったメディアを利用し、アクセス数の増加につなげていきたいと思ひます。



平成29年度 足立区生物園HP更新実績															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
1-1 アイキャッチ画像	1	3	0	3	4	2	3	3	4	2	4	3	32	月1回	
1-2 開園情報	30	31	30	31	31	30	31	1	1	1	1	1	219	11月から団体利用情報はTwitterで告知	
1-3 生物園からのお知らせ	4	1	3	1	2	2	6	1	1	7	5	7	40	随時	
1-4 生物園ニュース	1	1	2	1	0	3	0						8	11月からTwitter・Facebookに移行	
1-5 Facebook	4	7	4	5	5	4	8	7	9	7	6	6	72	週2回	
1-6 Twitter							2	15	38	55	59	45	214	毎日	
2-1 施設案内													0	0年1回内容確認	
3-1 プライバシーポリシー													0	0年1回内容確認	
3-2 年間報告書			1										0	1年1回	
2-2 園内マップ													0	0年1回内容確認	
2-3 プログラム情報	1	1	1	2	2	1	0	2	1	1	1	4	17	年1回内容確認	
2-4 生物園の生きもの	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	月1回	
2-5 よみもの													0		
3-7 ニュースレター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	月1回	
3-8 解説員のひとりごと	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	月1回	
3-10 調査・研究・受賞												1	1	随時	
2-6 交通案内													0	0年1回内容確認	
2-7 団体のお客様へ	1													1年1回内容確認	
2-8 元洲江公園の情報													0	0年1回内容確認	
2-9 お問い合わせ													0		
3-9 よくある質問												1	1	1年1回内容確認	
3-10 電話での問い合わせ												1	1	1年1回内容確認	
3-11 メールでの問い合わせ												1	1	1年1回内容確認	
2-10 プレスリリース	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	1	0	9	随時	
2-11 リンク													0	0年1回内容確認	
2-12 指定管理業者													0	0年1回内容確認	
特設サイト		1				1	1						2	5随時	
月ごとの合計	45	50	43	48	47	48	54	34	57	77	80	75	658		

※セル内数字は更新回数

(2) Twitter アカウントの開設と運用

兼ねてから新しい情報発信ツールとして取り組むことを予定していた Twitter を 9/6 に登録、11月より本格的に運用を開始しました。Facebook を「知的好奇心をくすぐるコラム」の場として使用し、Twitter は「瞬間的な生物園の魅力を伝える」ツールとして、飼育員ならではの視点で PR に活用していきたいと考えております。

記録期間	2017/10/25～2018/04/01 (159日間)
総ツイート数	215件
つぶやいた日数	127日
つぶやかなかった日数	32日
一日の平均ツイート数	1.6件
一日の最高ツイート数	5件 (2018/02/22)

3. ポスター・チラシ等による情報発信

(1) ポスター

昨年度に引き続き、期間展示情報、プログラム情報、イベント情報などをポスターにして掲示しました。掲示箇所は生物園入口・元洲江公園入口掲示板（各2枚）、園内（基本1枚、必要に応じ2枚）、生物園建物壁面（2枚）、竹ノ塚駅前看板（2枚）、竹ノ塚駅通路（1枚、高架工事に伴い10月からは掲示無し）、アトリウム（1枚）です。アトリウムのポスターは、背景を右記のスケジュールで更新しました。季節に応じたデザインで来庁者の方へ強くアピールできたのではないかと思います。

来年度は、竹ノ塚駅のPRスペースの再獲得を含め、区内東武線全駅での広報活動に力を入れていきたいと考えております。

4月	上旬	さくら
	下旬	さくら
5月	上旬	新緑のさくら
	下旬	新緑のさくら
6月	上旬	あじさい
	下旬	あじさい
7月	上旬	湿地の緑
	下旬	湿地の緑
8月	上旬	湿地の緑
	下旬	湿地の緑
9月	上旬	花と空
	下旬	花と空
10月	上旬	花と空
	下旬	秋の草原
11月	上旬	秋の草原
	下旬	秋の草原
12月	上旬	クリスマス
	下旬	クリスマス
1月	上旬	冬景色
	下旬	冬景色
2月	上旬	冬景色
	下旬	冬景色
3月	上旬	さくら
	下旬	さくら

ポスターの掲示実績

掲示場所	生物園入口		元洲江公園入口		園内	建物屋外壁面		竹ノ塚駅前看板		竹ノ塚駅通路	アトリウム							
	1 80×80(cm)	2 80×80(cm)	3 80×80(cm)	4 80×80(cm)	1~数枚	1 B2	2 B2	1 53×53(cm)	2 53×53(cm)	B1	1 B1							
4	上	生きもの タッチ展	虫の ようちえん展	生きもの タッチ展	虫の ようちえん展	4月の プログラム	生きもの タッチ展	虫の ようちえん展	生きもの タッチ展	生物園PR ポスター	4月の プログラム							
	中											5月の プログラム	5月の プログラム	5月の プログラム	5月の プログラム	5月の プログラム	5月の プログラム	
	下																	
5	上	ホタル 見night!	ホタル 見night!	ホタル 見night!	ホタル 見night!	6月の プログラム	ホタル 見night!	ホタル 見night!	ホタル 見night!	ホタル 見night!	5月の プログラム							
	中											ホタル 見night!	ホタル 見night!	ホタル 見night!	ホタル 見night!	ホタル 見night!	生物園PR ポスター	
	下																	
6	上	7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム	UMA	UMA	UMA	屋のホタル	7月の プログラム							
	中											7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム	7月の プログラム
	下																	
7	上	8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム	海の生きもの タッチプール	海の生きもの タッチプール	海の生きもの タッチプール	カブ・クワ展	生きもの捕り /カブ・クワ展							
	中											8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム	8月の プログラム
	下																	
8	上	9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム	鳴く虫 night!	鳴く虫 night!	鳴く虫 night!	鳴く虫 night!	鳴く虫night!							
	中											9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム	9月の プログラム
	下																	
9	上	10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム	金魚展	イモムシ 大集合	イモムシ 大集合	わんフェス	わんフェス							
	中											10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム	10月の プログラム
	下																	
10	上	11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム	うんち展	うんち展	うんち展	うんち展	うんち展							
	中											11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム	11月の プログラム
	下																	
11	上	12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム	冬のホタル 観賞会	冬のホタル 観賞会	冬のホタル 観賞会	冬のホタル 観賞会	冬のホタル 観賞会							
	中											12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム	12月の プログラム
	下																	
12	上	1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム	クイズ王・ ドッグショー	クイズ王・ ドッグショー	クイズ王・ ドッグショー	クイズ王・ ドッグショー	クイズ王・ ドッグショー							
	中											1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム	1月の プログラム
	下																	
1	上	2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム	移動動物園	移動動物園	移動動物園	移動動物園	移動動物園							
	中											2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム	2月の プログラム
	下																	
2	上	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	しつけ教室 ヒツジの毛刈り	しつけ教室 ヒツジの毛刈り	しつけ教室 ヒツジの毛刈り	しつけ教室 ヒツジの毛刈り	さくら フェスタ							
	中											3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム
	下																	
3	上	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	だまされた 展	だまされた 展	だまされた 展	だまされた 展	だまされた 展							
	中											3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム	3月の プログラム
	下																	

(2) ニュースレター

今年度もイベントや展示など生物園のPRに関する情報を載せたニュースレターを毎月1回発行し、各9,000部の印刷を行いました。印刷したニュースレターは区内の施設や生物園の受付などで配布する他、近隣の小学校10校（洺江第一小、洺江小、保木間小、東栗原小、加平小、中島根小、平野小、花保小、花畑小、竹の塚小）で配布を行いました。

2018年4月号から新しい配布先として東保木間町会と南保木間町会の回覧板で各家庭に毎月回して頂くことが地域連携研究会で決定しました（東保木間町会77部、南保木間町会35部）。これにより近隣の住民のさらなる生物園の活用が期待されます。

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	主な掲載内容
4月13日	5月号	A4/両面カラー	9,000	GW開催のイベント
5月15日	6月号	A4/両面カラー	9,000	ホタル見night!
6月15日	7月号	A4/両面カラー	9,000	夏の昆虫関連イベント
7月10日	8月号	A4/両面カラー	9,000	夏の水生生物イベント
8月8日	9月号	A4/両面カラー	8,500	鳴く虫night!
9月15日	10月号	A4/両面カラー	8,500	わんフェス、金魚すくい
10月13日	11月号	A4/両面カラー	8,000	うち展関連イベント
11月15日	12月号	A4/両面カラー	8,000	夜間特別開園in光の祭典
12月8日	1月号	A4/両面カラー	8,000	クイズ王、お正月キャンペーン
1月15日	2月号	A4/両面カラー	8,000	だまされた展、ポニー乗馬
2月15日	3月号	A4/両面カラー	8,000	さくらフェスタ、ボランティア募集
3月9日	4月号	A4/両面カラー	8,000	タッチ展、夜間特別開園

(3) チラシ

本年度は13回のチラシを発行・配布を行いました。生物園内での配布はもちろん、区内の施設やイベント関係団体など幅広く配布を行いました。また昨年度に引き続き、東武動物公園の折り込みチラシにて、生物園の部分掲載を行いました。

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	配布状況
4月7日	春の海で生きもの探り!	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
6月6日	家族で釣り教室	A4/両面カラー	2,000	上州屋と生物園内で配布
7月7日	セミの羽化観察	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
7月14日	足立で昆虫採集	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
7月24日	解剖!魚の研究会	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
8月18日	スズムシ飼育教室	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
9月1日	家族で釣り教室	A4/両面カラー	2,000	上州屋と生物園内で配布
10月15日	わんフェス	A4/両面カラー	1,500	関係団体及び、生物園内で配布
11月15日	冬のホタル観賞会・夜間特別開園	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
3月1日	東武動物公園新聞折り込みチラシ	B4/部分掲載カラー	100,000	東武動物公園から約20km圏内に配布
3月6日	ヒツジの毛でクラフト	A5/片面白黒	200	生物園内で配布
3月9日	さくらコンサート	A4/両面カラー	700	関係団体及び、生物園内で配布
3月9日	わんちゃんのしつけ教室	A5/片面白黒	200	生物園内で配布

(4) 中吊り広告

本年度は中吊り広告を5回掲載しました。「わんフェス」の全面広告と都市農とのコラボ中吊りは視覚的にもインパクトあるものに仕上がりに、大きく生物園のPRに寄与したのではないかと考えます。

開始日	終了日	種類	サイズ	部数	配布状況
10月5日	10月31日	わんフェス	B2	3,510	東武スカイツリーライン
1月1日	1月31日	年パス相互利用CP(東武動物公園中づりの一部)	B2	約20,000	東武線全線
3月1日	3月31日	スポット掲載(東武動物公園中づりの一部)	B2	約20,000	東武線全線
3月14日	3月31日	都市農業公園とのコラボ	B2	3,510	東武スカイツリーライン
3月14日	3月31日	都市農業公園とのコラボ	B2	150	東武バスセントラル(足立、葛飾など4営業所分)

(5) デジタルサイネージ

北千住駅前のデジタルサイネージにて、生物園情報を放映していただきました。昨年より掲示数を増やし、今年は「冬のホタル観賞会」と「わんフェス」の掲示をしました。広報としてどれだけの効果があるのか疑問もありますが、来年度も積極的に掲示枠の獲得を検討していきたいと思えます。

4. その他の情報発信

(1) 幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設への FAX 配信

平日の比較的園内が空いてる時間帯をもっと団体の施設見学などに利用して欲しいと考え、今年度から「生物園のみどころ情報 FAX」を毎月幼稚園や保育園、介護施設などに許可を得て送信する取り組みを始めました。(3/31 現在、261 事業所が対象)

ニュースレターのような凝ったものではなく、FAX の送信に耐えられるシンプルなデザインを心がけ、団体でいらしたお客様も皆さんで楽しんで貰えるような情報を配信していきます。

以下が「生物園みどころ情報 FAX」の配信を開始した 9 月から年度末までの期間の団体利用者数を比較したものです。

H28年度・H29年度 9/1～3/31団体利用者数比較

	団体数	大人	小人	幼児	合計
H28年度	533	3950	4780	4941	13671
H29年度	575	4698	4792	5344	14834
増減	42	748	12	403	1163

結果として前年度+1,163人(前年比109%)という団体入園者の増加がありました。小学校に関しては、授業・カリキュラムの都合などもありますので、FAX 配信対象外としています。よって「小人」の入園者数が昨年とほぼ変わらない数値となっていると考えられます。

非常に良い結果が得られたと思えますので、次年度はさらに配信先事業所を増やして運用していきたいと思えます。

(2) 資生堂とのコラボキャンペーン

資生堂の人気化粧品シーブリーズとの「青春割キャンペーン」に年度を跨ぎ参加しています。中高生を対象に、期間中（3/12～7/31）シーブリーズ対象商品と学生証を提示することで生物園オリジナルの缶バッヂをプレゼントするという企画です。3/31現在まだ反応は薄いですが、今後中高生の来園者数増加に効果が期待されます。

第二章 生物飼育業務

I 生物飼育業務

1. 平成 29 年度の飼育状況

(1) 昆虫類

今年度、足立区生物園の昆虫類の飼育は、チョウ類、水生昆虫類、陸生昆虫類の 3 つの区分で管理を行いました。また、チョウ類の管理は分類学上ではチョウ目のみとなるため、科（および亜科）による区分で飼育管理を行いました。なお、分類学上は昆虫ではないが、餌用生体として飼育管理した種（カタツムリなど）については、餌として使用する区分ごとに飼育管理を行いました。



年間飼育種数は 268 種 36,864 匹(チョウ類 70 種 8,755 匹、水生ホタル 2 種 974 匹、その他の水生昆虫類 24 種 2439 匹、餌用貝類 5 種 約 1,400 匹、バッタ目 34 種 3,457 匹、陸生甲虫類 64 種 3862 匹、その他の陸生昆虫 69 種約 15,977 匹)でした。

(2) 両生爬虫類

今年度、足立区生物園の両生爬虫類の飼育では、年間 69 種 283 匹（両生類：24 種 184 匹、爬虫類：45 種 99 匹）の飼育管理を行いました。



(3) 水族

水族の飼育管理を行う種は分類学上において多岐に渡るため、綱レベルでの区分とし飼育管理を行いました。水族の年間飼育種数は 239 種 3932 匹(うち魚類は軟骨魚類綱:2 種 3 匹、条鰭綱:75 種 1938 匹)でした。



綱	目数	種数	頭数
1 鉢虫綱	1	1	15
2 花虫綱	5	19	73
3 多板綱	1	4	25
4 腹足綱	8	53	831
5 二枚貝綱	1	1	30
6 多毛綱	5	7	36
7 カブトガニ綱	1	1	2
8 軟甲綱	2	45	372
9 ウミユリ綱	1	4	4
10 ヒトデ綱	3	7	277
11 クモヒトデ綱	1	4	122
12 ウニ綱	3	9	84
13 ナマコ綱	2	7	120
14 軟骨魚類綱	2	2	3
15 条鰭綱	15	75	1938
合計	51	239	3932

(4) 鳥類哺乳類

今年度、足立区生物園の鳥類哺乳類の飼育では、年間 21 種 100 匹（鳥類：8 種 24 羽、哺乳類：13 種 76 頭）の飼育管理を行いました。

2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト

(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	435	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	クロアゲハ	513	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	シロオビアゲハ	736	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ナガサキアゲハ	933	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	オナガアゲハ	11	有	大温室	屋外採集個体を含む
	キアゲハ	40	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	カラスアゲハ	23	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	アオスジアゲハ	17	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ジャコウアゲハ	308	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ベニモンアゲハ	37	有	大温室	屋外採集個体を含む
	モンキアゲハ	9	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ウスバシロチョウ	4	有	大温室	屋外採集個体のみ
	ミヤマカラスアゲハ	1	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ヤエヤマカラスアゲハ	5	有	大温室	屋外採集個体を含む
ミコアゲハ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
タテハチョウ科	オオゴマダラ	508	有	大温室	屋外採集個体を含む
	リュウキュウアサギマダラ	1028	有	大温室	屋外採集個体を含む
	スジグロカバマダラ	207	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ヒメアサギマダラ	146	有	大温室	屋外採集個体を含む
	アサギマダラ	325	有	大温室	屋外採集個体を含む
	マルバネルリマダラ	47	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ツムムラサキマダラ	59	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ミドリヒョウモン	4	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ツマグロヒョウモン	150	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	コムシジ	120	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	リュウキュウミスジ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	キタテハ	8	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	アカタテハ	25	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ヒメアカタテハ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	イチモンジチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体を含む
	イシガケチョウ	32	有	大温室	屋外採集個体を含む
	タテハモドキ	827	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ヤエヤマムラサキ	15	有	大温室	屋外採集個体を含む
	リュウキュウムラサキ	49	有	大温室	屋外採集個体を含む
	コノハチョウ	157	有	大温室	屋外採集個体を含む
	オオムラサキ	14	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ゴマダラチョウ	3	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	サカハチチョウ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	クジャクチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	アオタテハモドキ	11	有	大温室	屋外採集個体を含む
	イワサキタテハモドキ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	カバタテハ	93	有	大温室	屋外採集個体を含む
	リュウキュウヒメジャノメ	78	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ヒメジャノメ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	サトキマダラヒカゲ	4	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	ウスイロコマチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	マサキウラナミジャノメ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	ヒメウラナミジャノメ	16	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
ヒカゲチョウ	1	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
ジャノメチョウ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
テングチョウ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ	
シロチョウ科	モンシロチョウ	345	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	スジグロシロチョウ	15	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	モンキチョウ	93	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	キタキチョウ	364	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	クロテンシロチョウ	212	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ツマベニチョウ	269	有	大温室	屋外採集個体を含む
シジミチョウ科	ムラサキツバメ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ムラサキシジミ	4	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ベニシジミ	54	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ウラナミシジミ	4	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ヤマトシジミ	73	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ウラギンシジミ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	トラフシジミ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	ツシマウラボシシジミ	296	有	大温室	飼育個体のみ
セセリチョウ科	コウトウシロシタセセリ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	キマダラセセリ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	ダイミョウセセリ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	チャハネセセリ	3	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	イチモンジセセリ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
総種数	70				
総個体数	8755				

(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
コウチュウ目	ゲンジボタル	310	有	ホタル見night! 常設展	孵化幼虫数37,063頭	
	ヘイケボタル	664	有	ホタルの昼間観賞会 冬のホタル観賞会	羽化成虫(夏:353頭、冬:311頭) 孵化幼虫数17,113頭(夏11,151頭、冬:5,962頭)	
	オオミズスマシ	40	有	ハンター展 水辺の生きもの展		
	トビロゲンゴロウ	1	有	沖縄展		
	クロゲンゴロウ	1	有	常設展		
	ゲンゴロウ	20	有	常設展 水辺の生きもの展		
	ヒメフチトリゲンゴロウ	2				
	シマゲンゴロウ	25	有	常設展		
	ハイロゲンゴロウ	20	有	常設展		
	ヒメガムシ	3				
	コガムシ	6				
	ガムシ	20	有	常設展		
カメムシ目	タガメ	35	有	常設展 虫の親子関係展		
	コオイムシ	57	有	常設展、虫の親子関係展 クリスマス展		
	オオコオイムシ	4		生き物捕りにいこう展		
	タイコウチ	18	有	生き物捕りにいこう展		
	ヒメタイコウチ	2				
	ナミアメンボ	20	有	生き物捕りにいこう展		
	マツモムシ	50	有	常設展 ようちえん展		
トンボ目	アジイトトンボ	20		ようちえん展	幼虫	
	ギンヤンマ	10			幼虫	
	クロスジギンヤンマ	50	有	常設展 ハンター展	幼虫	
	シオカラトンボ	25			幼虫	
ヘビトンボ目	ヘビトンボ	10	有	ようちえん展	幼虫	
双翅目	セスジユスリカ	1000	有	ようちえん展	幼虫 水生昆虫の餌として(数は概算)	
	アカイエカ	1000	有	ようちえん展		
吸腔目	カワニナ科	カワニナ	1000	有	ホタル見night!	水生ホタル類幼虫の餌として(数は概算)
原始紐舌目	タニシ科	タニシ	100	有	ホタル見night!	
有肺目		モノアラガイ	100			
	サカマキガイ科	ヒメモノアラガイ	100			
		サカマキガイ	100			
総種数	31					
総個体数	4,813					

(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
トビムシ目	トビムシの仲間	1000			
ゴキブリ目	ウルシゴキブリ	80			
	クロゴキブリ	150	有	ゴキブリ展	
	コワモンゴキブリ	150	有	沖縄の虫たち展	
	ヤエヤママダラゴキブリ	70	有	ゴキブリ展、沖縄の虫たち展	
	ホタルゴキブリ	200			
	チャバネゴキブリ	300			
	グリーンバナナゴキブリ	80	有	ゴキブリ展	
	グロウスボットローチ	60			
	オガサワラゴキブリ	1000	有	ゴキブリ展	
	オオゴキブリ	1			
	ヤエヤマオオゴキブリ	60	有	ゴキブリ展	
	サツマゴキブリ	30	有	ゴキブリ展	
	マルゴキブリ	4			
	ヒメマルゴキブリ	250	有	ゴキブリ展、沖縄展	
	オフロゴンターマダガスカルゴキブリ	150	有	生きものタッチ展、虫のようちえん展、ゴキブリ展など	
	インシグニスマダガスカルゴ	100	有	ゴキブリ展、生物園のクリスマス展	
	ヤヴァニカマダガスカルゴキ	150	有	ゴキブリ展、生物園のクリスマス展	
	ヴァンウェレベクキマダガスカ	80	有	ゴキブリ展、生物園のクリスマス展	
	ヨロイモグラゴキブリ	2			
	ドミノゴキブリ	20	有	ゴキブリ展	
メンガタゴキブリの一種	200	有	生物園のハロウィン展、ゴキブリ展		
アルゼンチンモリゴキブリ	250				
シロアリ目	ヤマトシロアリ	50	有	虫の親子関係展	
カマキリ目	チョウセンカマキリ	18	有	ハンターな虫たち展	
	オオカマキリ	200	有	虫のようちえん展、親子関係展、夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
	コカマキリ	15			
	ハラビロカマキリ	30	有	足立の生きもの観察室、生物園のお正月展	
	ヒシムネカレハカマキリ	3	有	ハンターな虫たち展、だまされた展	
ハサミムシ目	ハマベハサミムシ	6	有	虫の親子関係展	
	オオハサミムシ	1			
	コヒゲジロハサミムシ	2			
ナナフシ目	コバナナフシ	150	有	生きものタッチ展、沖縄の虫たち展、だまされた展	
	タイワントビナナフシ	80			
	ヤエヤマトガリナナフシ	100	有	大温室前室、生きものタッチ展、沖縄の虫たち展、だまされた展	オキナワナナフシより改称
	ツダナナフシ	100	有	虫のようちえん展、沖縄の虫たち展	
ガロアムシ目	ガロアムシ	2			
バッタ目	ヤブキリ	7			
	キリギリス	20	有	鳴く虫展	
	コバネヒメギス	2			
	ヒメギス属の複数種	10	有	夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
	クサキリ	5			
	ササキリ属の複数種	10			
	ウマオイ属の複数種	3	有	鳴く虫展	
	クツワムシ	16	有	鳴く虫展	
	タイワンクツワムシ	50	有	虫の親子関係展	
	ツユムシ	1			
	セスジツユムシ	2			
	ダイトウクダマキモドキ	60			
	ヒメクダマキモドキ	4			
	フタホシコオロギ	1500	有	虫のようちえん展	
	ヨーロッパイエコオロギ	1000			毎週購入
	エンマコオロギ	60	有	鳴く虫展	
	クマスズムシ	12			
	コオロギ科の複数種	20			
	ヤエヤマクチキコオロギ	50	有	沖縄の虫たち展	
	マダラコオロギ	5	有	沖縄の虫たち展	
	マツムシ	70	有	鳴く虫展	
	スズムシ	300	有	鳴く虫展	
	カンタン	5	有	鳴く虫展	
	ヒロバネカンタン	10			
	キアシヒバリモドキ	1			
	ヒバリモドキ科の複数種	45			
	カナタタキ	3			
	ケラ	60	有	虫の親子関係展、鳴く虫展	
	オキナワモリバッタ	20	有	沖縄の虫たち展、生物園のバレンタイン展	
	イシガキモリバッタ	15	有	生物園のバレンタイン展	
	イリオモテモリバッタ	60	有	大温室前室	
	ツチイナゴ	20			
	トノサマバッタ	10			
	クルマバッタモドキ	1			

カメムシ目	アシブトメズムシ	20	有	沖縄の虫たち展	
	アカスジキンカメムシ	1			
	ミヤコキンカメムシ	1			
	シロモンオオサンガメ	80	有	虫のようちえん展、ハンター展	
コウチュウ目	ニワハンミョウ	1			
	ハンミョウ	3	有	ハンター展	
	マイマイカブリ	2	有	夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
	クロシデムシ	2			
	ヨソボシモンシデムシ	11	有	虫の親子関係展、夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
	コクロシデムシ	1			
	ミヤマクワガタ	11	有	カブクワ展	
	チビクワガタ	60	有	カブクワ展	
	ノギリクワガタ	5			
	アマミノギリクワガタ	1			
	ヤエヤマノギリクワガタ	1			
	アカアシクワガタ	3			
	コクワガタ	6	有	夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
	スジクワガタ	1			
	サキシマヒラタクワガタ	20	有	沖縄の虫たち展	
	ツシマヒラタクワガタ	5	有	カブクワ展	
	アマミヒラタクワガタ	1			
	オオクワガタ	12	有	たっち展、カブクワ展	
	ニジイロクワガタ	7	有	カブクワ展	
	エラフスホソアカクワガタ	1	有	カブクワ展	
	トルンカートウスホソアカクワガタ	1			
	モセリオウゴンオニクワガタ	1	有	カブクワ展	
	タランドウスオオツヤクワガタ	2	有	カブクワ展	
	ギラファノギリクワガタ	15	有	カブクワ展	
	セアカフタマタクワガタ	1	有	カブクワ展	
	リノケロスフタマタクワガタ	1	有	カブクワ展	
	ブケットフタマタクワガタ	1			
	アンタエウスオオクワガタ	1	有	カブクワ展	
	ホベイオオクワガタ	1			
	リツセマオオクワガタ	1			
	ウェスターマンヒラタクワガタ	1	有	カブクワ展	
	タウルスヒラタクワガタ	2			
	オオセンチコガネ	1	有	うんち展	
	センチコガネ	1	有	うんち展	
	アオカナブン	2			
	シロテンハナムグリ	1			
	カブトムシ	200	有	虫のようちえん展、夏だ！生きもの捕りに行こう！展、カブクワ展など	
	コカブトムシ	1	有	夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
	コアオハナムグリ	3			
	クロハナムグリ	15			
	ヘラクレスヘラクレス	55	有	生きものタッチ展、カブクワ展	
	コーカサスオオカブト	16	有	カブクワ展	
	アトラスオオカブト	4			
	バラタスサスマタサイカブト	1	有	カブクワ展	
	ヒラヅツツサイカブト	1			
	マルスゾウカブト	4			
	ヒメボタル	5			
	オオシママドボタル	100	有	生きものタッチ展、虫のようちえん展、沖縄の虫たち展、ハンター展	
	テントウムシ亜科の複数種	20	有	虫のようちえん展	
	チャイロコメノゴミムシダマシ(ミルワ)	3000			
	ツヤケシオオゴミムシダマシ	100			通称:ジャイアントミルワーム
	サトユミアシゴミムシダマシ	1			
	クロツヤキマワリ	10			
	ノギリカミキリ	2			
	アカアシオオアオカミキリ	2	有	夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
	ルリハムシ	60			
	セモンジンガサハムシ	12	有	夏だ！生きもの捕りに行こう！展	
イチモンジカメノコハムシ	3				
ハムシ科の複数種	25				
ヒゲナガオトシブミ	2				
オオアソウムシ	2				
クロカタゾウムシ	25	有	生きものタッチ展、沖縄の虫たち展、生物園のお正月展、大塚里科展		
マダラアソウムシ	1				
オオゾウムシ	5				

アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ	3			
ハチ目	クロオオアリ	50	有	足立の生きもの観察室、虫の親子関係展	
	ムネアカオオアリ	25			
	ウメマツオオアリ	6			
	アミメアリ	100			
	キアシナガバチ	2			
	セグロアシナガバチ	5			
	フタモンアシナガバチ	10	有	虫の親子関係展	
	セイヨウミツバチ	10000	有	パタフライガーデン	
ハエ目	ショウジョウバエ	200			
サソリ目	ヤエヤマサソリ	22	有	沖縄の虫たち展	
	ダイオウサソリ	7	有	ハンター展	
サソリモドキ目	タイワンサソリモドキ	7	有	沖縄の虫たち展、ハンター展	
オオムカデ目	トビズムカデ	2	有	虫の親子関係展、ハンター展	
	オオムカデ属の一種	1			
クモ目	ジグモ	5	有	ハンター展	
	ウズグモ科の一種	4	有	ハンター展	
	アシダカグモ	1	有	ハンター展	
	メキシカンピンク(タランチュラ)	1	有	生物園のハロウィン展、ハンター展	
	ローズヘアー(タランチュラ)	2			
ワラジムシ目	オカダンゴムシ	150	有	休憩コーナー	
有肺目	オカモノアラガイ科の一種	3			
	キセルガイ科の一種	50			
	ベッコウマイマイ	2			
	オナジマイマイ	50			
	ミスジマイマイ	10	有	うたの中の生きもの展	
	ヒダリマキマイマイ	12	有	休憩コーナー	
	ヒタチマイマイ	1			
総種数	167				
総個体数	23296				

(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
無尾目	モリアオガエル	28				
	トウキョウダルマガエル	16	有	常設展		
	トノサマガエル	1				
	ニホンアマガエル	5	有	常設展		
	サドガエル	5				
	ヒキガエル	6	有	常設展		
	アフリカツメガエル	44	有	常設展	大型魚類の餌としても利用	
	マダラヤドクガエル	8	有	常設展	繁殖のためバックで飼育	
	キオビヤドクガエル	1	有		繁殖のためバックで飼育	
	ヤドクガエル類	8			繁殖個体(F1)	
	ベルツノガエル	1			展示個体死亡のため新規導入	
	ヒメアマガエル	3				
	ヤエヤマアオガエル	1				
	カジガエル	3				
ニホンアカガエル	17			ヘビ類の餌として利用		
有尾目	アカハライモリ	9	有	常設展		
	メキシコサラマンダー	4	有	常設展	繁殖個体(F1:1個体)	
		1	有	常設展		
	シリケンイモリ	1				
	オオサンショウウオ	1	有	常設展		
	ハコネサンショウウオ	2	有			
	トウキョウサンショウウオ	1				
	トウホクサンショウウオ	3				
	クロサンショウウオ	13				
	マーブルサラマンダー	2	有	常設展		
カメ目	キバラガメ	1	有			
	クサガメ	2	有	ふれあい		
		6	有	母の日展		
	ワニガメ	1				
	スッポンモドキ	1	有	常設展		
	ヤエヤマイシガメ	2	有	お正月展		
	チリメンナガクビガメ	1	有	常設展		
	カロリナハコガメ	2	有	常設展		
	インドホシガメ	4	有	常設展		
	ヒョウモンリクガメ	1	有	常設展		
	ケヅメリクガメ	3	有	常設展		
	アカアシガメ	4	有	出張生物園		
	パンケーキリクガメ	2	有	常設展		
	ウンキョウ(イシガメ×クサガメ)	2				
	ニホンイシガメ	5	有	常設展	生息域外保全個体(4匹)	
	ニシキマゲクビガメ	2	有	常設展		
有鱗目	フトアゴヒゲトカゲ	1			展示個体死亡のため新規導入	
	トッケイヤモリ	1	有			
	ヒョウモントカゲモドキ	8	有	常設展		
	オオアオジトカゲ	1	有			
	インドシナウオータードラゴン	2	有	常設展		
	ミナミヤモリ	3	有			
	オキナワヤモリ	2				
	ホオグロヤモリ	3				
	ニホンヤモリ	4	有	だまされた展		
	サキシマキノボリトカゲ	7				
	ニホンカナヘビ	1				
	ヒガシニホントカゲ	2				
	バーバートカゲ	1				
	ツシマスベトカゲ	1				
	オカダトカゲ	2				
	ヘビ目	ビルマニシキヘビ	1	有	常設展	
		ミドリニシキヘビ	1	有		
		ボア・インペラートル	2	有	常設展	ボアコンストリクターの学名変更
		ヒバカリ	1			
		シマヘビ	1			展示個体死亡のため新規導入
		ジャングルカーベットニシキヘビ	1	有	ふれあい	
		コースタルカーベットニシキヘビ	2			
		ボールニシキヘビ	2	有	常設展	
		ペーレンニシキヘビ	2	有	常設展	
		カリフォルニアキングヘビ	1	有	お正月展	
		カンムリヘビ	1	有		
ミルクヘビ		1	有	X'mas展		
アオダイショウ		3	有	常設展		
サキシママダラ		1	有	プログラム		
ナンダ	1					
総種数	69					
総個体数	283					

(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考		
軟骨魚類綱	メジロザメ目	ドチザメ	1	有	常設展		
	ネコザメ目	ネコザメ	2	有	常設展		
条鰭綱	ガー目	スポッテッドガー	4	有	常設展		
		ピラルクー	2	有	常設展		
		アロワナ目	シルバーアロワナ	3	有	常設展	
			アジアアロワナ	1	有	常設展	高背金龍 紅尾金龍
	ウナギ目	ウナギ	2	有	水辺の生きもの展		
		トラウツボ	1	有	常設展		
		ハワイウツボ	1	有	常設展		
		ニシキアナゴ	2	有	常設展		
	ダツ目	メダカ属の一種	30	有		流通名:クロメダカ、ダルメダカ等	
		ヒメダカ	30	有	常設展	宇宙メダカ	
	カダヤシ目	グッピー	100	有	母の日展・ハロウィン展・バレンタイン展		
		セイルフィン・モーリー		10	有	常設展	流通名:ゴールデンモーリー
				10	有	常設展	流通名:ブラックモーリー
				10	有	常設展	流通名:サンセットタキードプラティ
		サザンプラティフィッシュ		10	有	常設展	流通名:フルータキードプラティ
				10	有	常設展	流通名:ミッキーマウスプラティ
				10	有	常設展	流通名:シルバーライヤーモーリー
		コクチモーリー		10	有	常設展	流通名:ブラックゴールデンライヤーモーリー
				10	有	常設展	流通名:ブラッドオレンジライヤーモーリー
		コイ目	ギンブナ	5	有	常設展・水辺の生きもの展	
	キンギョ		1000	有	常設展・金魚展・正月展		
	トウ属の一種		2	有	常設展	流通名:アロワナカーブ	
	レッドフィンバルブ		8	有	常設展・水辺の生きもの展		
	コイ		2	有	常設展		
	ヒレナガニシキゴイ		3	有		流通名:ヒレナガコイ	
	モソゴ		30	有	常設展・水辺の生きもの展・出張生物園		
	タイリクバラタナゴ		10	有	常設展・水辺の生きもの展		
	ガラ・ルファ		150	有	生きものタッチ展		
	レインボーシャーク		11	有	常設展		
	クラウンローチ		2	有	常設展		
	ドジョウ		2	有	常設展・水辺の生きもの展		
	タラ目		チゴダラ	1	有	常設展	
	カラシン目	ネオンテトラ	100	有	常設展		
	ナマズ目	トランスルーセントグラスキャットフィッシュ	15	有			
		ナマズ	1	有	常設展・水辺の生きもの展		
		リネロリカリアの一種	5	有	だまされた展		
		アグアブレコ	2	有			
	タウナギ目	コリドラス・ハステータス	15	有	常設展		
		ファイヤースパイニーイール	1	有	常設展	流通名:レッドスパイニーイール	
	スズキ目	マンジュウイシモチ	6	有			
		アマノガワテンジクダイ	2	有			
		カゴカキダイ	15	有	常設展		
		ヒメツバメウオ	15	有	常設展		
		テツボウオ属の複数種	9	有	常設展	流通名:テツボウオ	
		シュードトロフェウス・ロンパロドイ	15	有	常設展	流通名:ゴールデンゼブラシクリッド	
		シュードトロフェウスの一種	9	有	常設展	流通名:レッドゼブラシクリッド	
		ラビドクレミス・カエルレウス	12	有	常設展	流通名:スノーホワイトシクリッド	
		ネオランフロログス・プリチャージ	30	有	常設展		
		クダゴンベ	1	有	常設展		
		カクレクマノミ	2	有	常設展		
		デバズメダイ	6	有	常設展		
		ミズジリュウキュウスズメダイ	5	有	常設展		
		オヤビッチャ	3	有	常設展		
		ルリスズメダイ	5	有	常設展		
		リボンスズメダイ	15	有	常設展		
		シマズメダイ	1	有	常設展		
		トサカギンボ	5	有	常設展		
		ミナミトビハゼ	20	有	常設展		
		ハタタテハゼ	2	有	常設展		
		キヌバリ	1	有	常設展		
		アゴハゼ	3	有	タッチプール		
		ニクハゼ	30	有			
		チナブ	2	有	常設展		
		ヨシノボリ属の複数種	5	有	常設展・水辺の生きもの展		
		ナンヨウハギ	3	有	常設展		
		リーフフィッシュ	5	有	だまされた展		
		ギンユゴイ	5	有	常設展		
		オオカミウオ	1	有	常設展		
		フサギンボ	3	有	常設展		
		カレイ目	ヌマガレイ	11	有		
		カサゴ目	クジメ	1	有	常設展	
			ユメカサゴ	2	有	常設展	
	ヨウジウオ目	サギフエ	10	有	常設展		
		サンゴタツ	30	有	常設展		
	フグ目	アミメハギ	2	有	常設展		
		クサフグ	1	有	常設展		
		アベニーパファー	15	有	常設展		
	総種数	73					
	総個体数	1941					

平成29年度 足立区生物園におけるその他の水族生物 年間飼育実績

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
鉢虫綱						
	旋口クラゲ目	ミズクラゲ	15	有	常設展	
花虫綱						
イソギンチャク目	ウメボシイソギンチャク	7	有	タッチプール		
	ヒメイソギンチャク	5	有	タッチプール		
	ミドリイソギンチャク	2	有	タッチプール		
	グビジンイソギンチャク	1	有	タッチプール		
	ベニヒモイソギンチャク	10	有	タッチプール		
	サンゴイソギンチャク	3	有	タッチプール・常設展		
	ホネナシサンゴ目	ディスクオーラル	10	有	常設展	
	イシサンゴ目	チヂミウスコモンサンゴ	1	有		
		コエダナガレハナサンゴ	1	有	常設展	
		ナガレハナサンゴ	3	有	常設展	
		コハナガタサンゴ	3	有	常設展	
		ハナガタサンゴ	3	有	常設展	
	スナギンチャク目	ヒユサンゴ(オオハナサンゴ)	3	有	常設展	
		スナギンチャク属の一種	2	有	常設展	
	ウミトサカ目	ヤワタコアシカトサカ	3	有		
ブルームウミアザミ		6	有			
イソバナ		5	有	タッチプール		
ツツウミツタ		1	有	常設展		
	ムラサキハナツタ	4	有	常設展		
多板綱						
Chitonida目	ヒメケハダヒザラガイ	1	有	タッチプール		
	ケムシヒザラガイ	20	有	タッチプール		
	ヒザラガイ	2	有	タッチプール		
	ニシキヒザラガイ	2	有	タッチプール		
腹足綱						
カサガイ目	マツバガイ	1	有	タッチプール		
	アマオブネガイ	60	有	タッチプール		
アマオブネガイ上目	アマガイ	50	有	タッチプール		
	ヒラユキスズメ	1	有	タッチプール		
古腹足上目	エビスガイ	5	有	タッチプール		
	オトメガサ	3	有	タッチプール		
	ヒラスカシガイ	4	有	タッチプール		
	アンヤガイ	5	有	タッチプール		
	イシダタミ	50	有	タッチプール		
	ナツモモ	4	有	タッチプール		
	ハクシャウズ	3	有	タッチプール		
	ウズイチモンジ	10	有	タッチプール		
	クボガイ	50	有	タッチプール		
	クマノコガイ	100	有	タッチプール		
	バテイラ	49	有	タッチプール		
	コシダカガンガラ	30	有	タッチプール		
	ギンタカハマ	2	有	タッチプール		
	ウラウズガイ	7	有	タッチプール		
	スガイ	6	有	タッチプール		
	サザエ	30	有	タッチプール		
	コシダカサザエ	5	有	タッチプール		
吸殻目	ホシキヌタ	5	有	タッチプール		
	メダカラ	2	有	タッチプール		
	タマキビ	20	有	タッチプール		
	マガキガイ	30	有	常設展・タッチプール		
	ボウシュウボラ	4	有	タッチプール		
	カコボラ	2	有	タッチプール		
	シワボラダマシ	5	有	タッチプール		
	イソニナ	50	有	タッチプール		
	キンシハイ	2	有	タッチプール		
	アカニシ	1	有	常設展		
	レイシガイ	16	有	タッチプール		
	イボニシ	10	有	タッチプール		
	ホソウミニナ	20	有	タッチプール		
	シマハマトソ	50	有	常設展		
	ゴマフニナ	50	有	タッチプール		
	キバウミニナ	15	有	常設展		
	低位異鰓目	ミスガイ	1	有	タッチプール	
頭鰓目	ブドウガイ	5	有	常設展		
無鰓目	ウミナメクジ	2	有	常設展		
	ピウガタナメクジ	2	有	タッチプール		
裸鰓目	クモガタウミウシ	1	有	タッチプール		
	アミメツツレウミウシ	1	有	タッチプール		
	コモンウミウシ	6	有	タッチプール		
	シロウミウシ	14	有	タッチプール		
	サラサウミウシ	3	有	タッチプール		
	アオウミウシ	29	有	タッチプール		
	ウスイロウミウシ	3	有	タッチプール		
	シラユキウミウシ	1	有	タッチプール		
	クロシタナシウミウシ	1	有	タッチプール		
	オトメウミウシ	1	有	タッチプール		
	サメジマオトメウミウシ	3	有	タッチプール		
	ヒメメリバウミウシ	1	有	タッチプール		
	二枚貝綱					
マルスダレガイ目	アサリ	30	有	常設展		

多毛綱					
	イトゴカイ目	タマシキゴカイ	4	有	常設展
	サシバゴカイ目	オトヒメゴカイ	2	有	タッチプール
	ケヤリムシ目	ホンケヤリムシ	2	有	タッチプール
		ケヤリムシ	1	有	タッチプール
	スピオ目	ミスヒキゴカイ	24	有	常設展
		クマノアシツキ	2	有	タッチプール
	フサゴカイ目	ニッポンフサゴカイ	1	有	タッチプール
カブトガニ綱					
	カブトガニ目	アメリカカブトガニ	2	有	常設展
軟甲綱					
	等脚目	オオグソクムシ	10	有	常設展
	十脚目	カワリヌマエビ属	20	有	品種名:レッドビーシュリンプ
		アメリカザリガニ	50	有	常設展・生きもの捕りに行こう!展など
		ホントオニヤドカリ	7	有	タッチプール
		ウスイロサンゴヤドカリ	1	有	タッチプール
		ユビワサンゴヤドカリ	3	有	常設展
		ベニワモンヤドカリ	2	有	タッチプール
		イソヨコバサミ	20	有	生きもの捕りに行こう!展・タッチプール
		ツメナガヨコバサミ	10	有	生きもの捕りに行こう!展・タッチプール
		ソモンヤドカリ	5	有	タッチプール
		サメハダヤドカリ	2	有	タッチプール
		イシダタミヤドカリ	5	有	タッチプール
		ケブカヒメヨコバサミ	5	有	タッチプール
		ムラサキオヤドカリ	4	有	常設展
		ヤシガニ	1	有	
		ホンヤドカリ	20	有	生きもの捕りに行こう!展・タッチプール
		ユビナガホンヤドカリ	2	有	常設展
		ホシノラホンヤドカリ	5	有	タッチプール
		ケアシホンヤドカリ	20	有	タッチプール
		ヤマトホンヤドカリ	20	有	生きもの捕りに行こう!展・タッチプール
		ベニホンヤドカリ	2	有	タッチプール
		イソカニダマシ	1	有	タッチプール
		オオアカハラ	1	有	タッチプール
		イボトゲガニ	5	有	タッチプール
		トゲアシガニ	3	有	タッチプール
		ショウジンガニ	3	有	生きもの捕りに行こう!展・タッチプール
		イワガニ	3	有	生きもの捕りに行こう!展
		インガニ	3	有	タッチプール
		ヒラインガニ	20	有	タッチプール
		アカインガニ	3	有	タッチプール
		ヒメアカインガニ	4	有	タッチプール
		イソクスガニ	10	有	タッチプール
		コワタクスガニ	10	有	タッチプール
		ヨツハモガニ	6	有	タッチプール
		ヨツハモドキ	1	有	タッチプール
		オウギガニ	20	有	タッチプール
		トガリオウギガニ	5	有	タッチプール
		トゲオウギガニ	1	有	タッチプール
		ヒツメガニ	1	有	常設展
		スペースマンジュウガニ	1	有	タッチプール
		ヘリトリマンジュウガニ	1	有	タッチプール
		イボイワオウギガニ	3	有	生きもの捕りに行こう!展・タッチプール
		クロベンケイガニ	10	有	常設展・生きもの捕りに行こう!展など
	ベンケイガニ	10	有	常設展・生きもの捕りに行こう!展など	
	ベニシオマネキ	33	有	常設展	
	ヤエヤマシオマネキ	10	有	常設展	
ウミユリ綱					
	ウミシダ目	トゲバナウミシダ	1	有	タッチプール
		トラフウミシダ	1	有	タッチプール
		ニッポンウミシダ	1	有	タッチプール・常設展
		オオウミシダ	1	有	タッチプール
ヒトデ綱					
	マヒトデ目	ヤツデヒトデ	72	有	タッチプール・常設展
	ヒメヒトデ目	ヒメヒトデ	1	有	
	アカヒトデ目	イトマキヒトデ	100	有	常設展・生きもの捕りに行こう!展など
		チビイトマキヒトデ	5	有	タッチプール
		カワリイトマキヒトデ	30	有	常設展
		アカヒトデ	68	有	常設展・タッチプール
		カワテブクロ	1	有	常設展
クモヒトデ綱					
	クモヒトデ目	アカクモヒトデ	1	有	タッチプール
		トウメクモヒトデ	20	有	タッチプール・出張生物園
		ニホンクモヒトデ	100	有	常設展・生きもの捕りに行こう!展・タッチプール
		ウデナガクモヒトデ	1	有	タッチプール
ウニ綱					
	ガンガゼ目	ガンガゼ	1	有	タッチプール
	拱窗目	アカウニ	1	有	タッチプール
		サンショウウニ	5	有	タッチプール
		ムラサキウニ	29	有	タッチプール
		パフウニ	40	有	タッチプール
		アカウニ	1	有	タッチプール
		エゾパフウニ	1	有	タッチプール
	コシダカウニ	2	有	タッチプール	
	タコノマクラ目	タコノマクラ	4	有	タッチプール

ナマコ綱					
マナマコ目 (楯手目)	イソナマコ	33	有	タッチプール	
	テツイロナマコ	18	有	タッチプール	
	トラフナマコ	30	有	常設展・タッチプール	
	フジナマコ	7	有	タッチプール	
	ニセクロナマコ	21	有	常設展・タッチプール・うんち展	
	マナマコ	10	有	常設展・タッチプール・うんち展	
楯手目	ムラサキグミモドキ	1	有	タッチプール	
総種数		162			
総個体数		1991			

(6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成29年度 足立区生物園における鳥類の年間飼育種数

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
鳥類	カモ目	アイガモ	1	有	里山のいきもの	家畜型
		オカメインコ	15	有	オージードーム	
		ワカナインコ	1	有	オージードーム	
		アキクサインク	1	有	オージードーム	
		セキセイインコ	1	有	オージードーム	
	キジ目	オヒキチャボ	2	有	干支の記念撮影	
		ゴインチャボ	2	有	干支の記念撮影	
	フクロウ目	ホンドフクロウ	1	有	里山のいきもの	
総種数		8				
総個体数		24				

平成29年度 足立区生物園における哺乳類の年間飼育種数

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
哺乳類	カンガルー目	オオカンガルー	1	有	オージードーム	
		バルマワラビー	3	有	オージードーム	
	ウサギ目	カイウサギ	2	有	ふれあいコーナー	
		テンジクネズミ	39	有	ふれあいコーナー	
	げっ歯目	フクロモモンガ	1			
		ヒメハリテンレック	2	有	ふれあい展	
		テンチラ	16	有	観察展示室	
	サル目	シマリス	2	有	出会いの広場	
		コモンリスザル	2	有	ふれあいコーナー	
	食肉目	ネコ	3	有	きつずルーム	家畜種・雑種
	奇蹄目	ウマ	1	有	ふれあいコーナー	家畜種:ミゼットホース
	偶蹄目	ヤギ	2	有	ふれあいコーナー	家畜種:コリデール:シバヤギ
		ヒツジ	2	有	ふれあいコーナー	家畜種:コリデール
総種数		13				
総個体数		76				

3. 特記事項

(1) チョウ類の月別放蝶実績

今年度は各月 10 種 500 頭以上の放蝶数を達成することができました。以下に各月の放蝶種と頭数の一覧を報告します。

平成 29 年度月別放蝶実績

分類	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	40	24	92	43	27	21	48	31	70	8	3	28	435	
	クロアゲハ	77	63	57	36	70	30	54	23	36	35	13	19	513	
	シロオビアゲハ	69	131	93	3	95	30	25	6	74	88	45	77	736	
	ナガサキアゲハ	17	16	180	113	140	69	117	56	138	51	16	20	933	
	オナガアゲハ	0	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
	キアゲハ	2	0	18	0	3	6	3	4	3	1	0	0	40	
	カラスアゲハ	1	1	1	2	0	2	1	0	12	0	3	0	23	
	アオスジアゲハ	0	1	7	3	1	1	1	0	0	1	2	0	17	
	ジャコウアゲハ	17	4	25	85	19	60	28	1	37	3	6	23	308	
	ベニモンアゲハ	0	1	7	0	0	0	8	0	20	1	0	0	37	
	モンキアゲハ	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	9	
	ウスバシロチョウ	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	ミヤマカラスアゲハ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ヤエヤマカラスアゲハ	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	5	
	ミカドアゲハ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	タテハチョウ科	オオゴマダラ	47	59	39	35	25	25	10	22	15	118	73	40	508
		リュウキュウアサギマダラ	222	219	95	24	64	63	39	71	16	16	81	118	1028
		スジグロカバマダラ	13	21	2	3	7	37	8	8	20	47	33	8	207
ヒメアサギマダラ		0	0	0	0	0	0	4	29	31	14	55	13	146	
アサギマダラ		39	26	76	21	55	79	29	0	0	0	0	0	325	
マルハネルリマダラ		0	0	0	0	0	0	2	37	8	0	0	0	47	
ツマムラサキマダラ		7	5	2	0	3	11	6	7	0	4	1	13	59	
ミドリヒョウモン		0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	
ツマグロヒョウモン		0	8	0	15	87	11	12	4	10	1	0	2	150	
コムスジ		0	7	13	4	9	44	2	28	0	5	7	1	120	
リュウキュウミスジ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
キタテハ		0	1	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	8	
アカタテハ		0	1	1	0	2	1	20	0	0	0	0	0	25	
ヒメアカタテハ		0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
イチモンジチョウ		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
インガケチョウ		10	11	2	0	2	0	7	0	0	0	0	0	32	
タテハモドキ		35	56	13	2	113	52	156	41	53	50	36	220	827	
ヤエヤマムラサキ		0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	15	
リュウキュウムラサキ		0	42	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	49	
コノハチョウ		0	0	0	0	0	8	87	0	37	1	24	0	157	
オオムラサキ		0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0	14	
ゴマダラチョウ		0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	
サカハチチョウ		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
クジャクチョウ		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
アオタテハモドキ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	11	
イフサキタテハモドキ		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
カバタテハ		10	11	11	4	28	7	3	7	9	0	3	0	93	
ジャノメチョウ科		リュウキュウヒメジャノメ	28	0	0	7	2	1	2	0	5	2	18	13	78
		ヒメジャノメ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		サトキマダラヒカゲ	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
		クロノマチョウ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		ウスイロコノマチョウ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		ヒメウラナミジャノメ	0	9	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	16
		ヒカゲチョウ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		ジャノメチョウ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
テングチョウ科		テングチョウ	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
シロチョウ科	モンシロチョウ	55	118	20	7	14	18	1	25	1	4	39	43	345	
	スジグロシロチョウ	1	1	2	1	6	1	0	1	1	1	0	0	15	
	モンキチョウ	28	1	36	2	0	10	9	1	6	0	0	0	93	
	キタキチョウ	38	40	15	34	7	73	2	10	6	22	20	97	364	
	クロテンシロチョウ	67	10	3	3	1	0	1	63	2	34	7	21	212	
	ツマベニチョウ	20	3	12	0	11	35	7	70	50	29	5	27	269	
	ムラサキツバメ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
シジミチョウ科	ムラサキシジミ	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	
	ベニシジミ	16	2	1	2	6	27	0	0	0	0	0	0	54	
	ウラナミシジミ	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4	
	ヤマトシジミ	1	9	1	0	9	46	7	0	0	0	0	0	73	
	ウラギンシジミ	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	
	トラフシジミ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ツシマウラボシシジミ	72	0	0	129	0	95	0	0	0	0	0	0	296	
セセリチョウ科	コウトウシロシタセセリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	キマダラセセリ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ダイミョウセセリ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	チャバネセセリ	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3	
	イチモンジセセリ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
合計種数	25	37	33	30	38	37	41	23	25	24	24	19	70		
合計頭数	932	922	833	590	839	877	732	546	661	537	501	785	8755		

(2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全

昨年度に引き続き、ツシマウラボシシジミの生息域外保全の取り組みを行いました。今年度は交配作業の終了後の余剰個体をチョウの大温室で展示し、積極的に広報も行いました。今年度の詳細な飼育状況については、添付資料「平成29年度 足立区生物園におけるツシマウラボシシジミの生息域外保全への取り組みについて」をご確認ください。

また、今年度は本取り組みを以下の場に投稿をおこないました。

平成29年度 ツシマウラボシシジミ生息域外保全についての投稿

日付	発表・投稿先	タイトル	備考
7月14日	平成29年度ツシマウラボシシジミ保全検討連絡会議	足立区生物園におけるツシマウラボシシジミの域外保全	□頭発表
11月16日	全国昆虫施設連絡協議会 平成29年度研究発表	ツシマウラボシシジミ一般公開の取り組みについて	□頭発表

(3) ホタルの飼育展示実績

今年度、水生ホタル類2種（ゲンジボタル、ヘイケボタル）の観賞会において、以下の通り各種個体数を展示することができました。

平成29年度 ホタル見 night!の展示頭数

	6/2	6/3	6/4	6/9	6/10	6/11	6/16	6/17	6/18	計
ゲンジボタル	140	140	140	150	150	150	140	140	140	1,290
ヘイケボタル	0	0	0	10	10	10	15	15	15	75

※合計は延べ展示数

平成29年度 昼のホタル観賞会（夏季）の展示頭数

	6/24	6/25	7/1	7/2	7/8	7/9	計
ヘイケボタル	80	80	90	90	90	90	520

※合計は延べ展示数

平成29年度 冬のホタル観賞会（光の祭典）の展示頭数

	12/2	12/3	12/9	12/10	12/16	12/17	12/23	12/24	12/25	計
ヘイケボタル	50	50	50	50	40	40	40	40	40	400
オオシマボタル	30	30	30	30	30	30	30	30	30	270

※合計は延べ展示数

平成29年度 昼間ホタル観賞会（冬季）の展示頭数

	1/2	1/3	1/4	1/5	計
ヘイケボタル	35	35	30	30	130
オオシマボタル	30	30	30	30	120

※合計は延べ展示数

(4)「ホタルのタベ」実現に向けたとりくみ

平成30年に「ホタルのタベ」を再開するため、今年度は以下の点について取り組みましたので報告します。

① ゲンジボタルの飼育個体数増加

本年度は上陸率を高めるために、終齢まで飼育する幼虫の頭数増加を試みました。

プレハブ小屋の一部を新たに飼育場として活用し、水槽の本数を昨年度の倍にしました。これにより餌のカワニナとゲンジボタル幼虫の飼育個体数を大幅に増やすことができました。また飼育方法も新たにろ過機を用いた水槽にすることで水質を清潔に保つことができました。

これらの試みの結果、昨年度に比べ806個体多い計1299個体の終齢幼虫を水路に放すことができました。

② ハイケボタルの飼育個体数増加

幼虫飼育の安定化と上陸率・羽化率の向上に取り組みを行いました。

幼虫飼育では、飼育トレイを従来のもものよりも大型のものを新たに導入し、飼育密度が高くなりすぎないように配慮しました。また、上陸用の装置も従来のトレイから45センチ水槽変更し、羽化率を25.5%に向上させることができました。

③ 餌用水生巻貝類の個体数増加

今年度はカワニナ、タニシのほかに東南アジア原産の小型のカワニナを新規の餌として導入しました。ハイケ・ゲンジボタルの若齢幼虫は小さな餌しか食べられません。今回導入した小型のカワニナは繁殖力が高く、成長も早いので、これらの幼虫の餌として最適です。

④ 昆虫ドームでの展示方法の検討

来年度の昆虫ドーム内での展示に備え、展示方法を検討しました。展示に必要な暗さを確保するため、遮光シートの設置実験を行いました。軽量で安価な農業用の防草シートを加工・設置することで、十分な暗さが確保することができました。また、ドーム内には大型の蚊帳を張り、来園者と生体の空間を分ける方法を検討しました。

(5) 観察展示室の水槽改修について

今年度は昨年に引き続き、経年劣化により破損の危険性が高い水槽「深海の世界」「冷たい海の世界」「多様な熱帯の爬虫類」の展示改修を行いました。

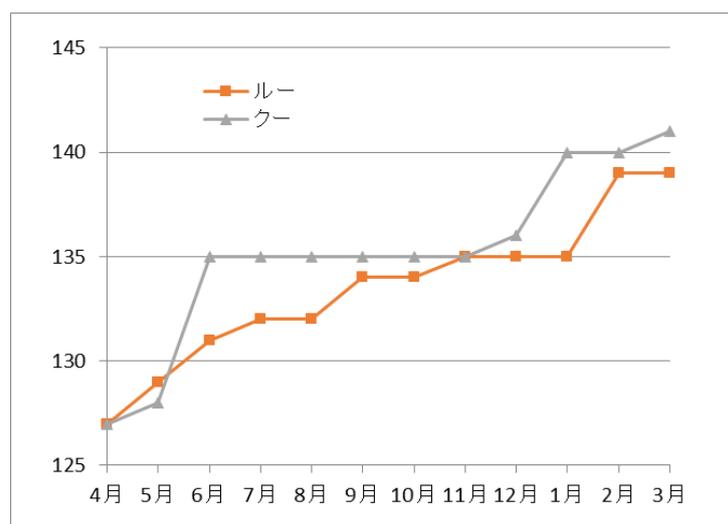
「冷たい海の世界」では北海道などの冷水に生息する海洋生物の環境を再現し、オオカミウオなどの特徴的な生物を観察できます。「深海の世界」では深海に生息するオオグソクムシを展示するほか、パネルで特異的な深海の世界について紹介しました。この2つの展示がオープンしたことにより熱帯から冷水まで、様々な海洋環境を再現することができ海洋生態系の多様性を表現することができました。

両生爬虫類コーナーの「多様な熱帯の爬虫類」では、新たにインドシナウォータードラゴンの水槽を立ち上げました。この展示では小魚が泳ぐ水槽のすぐ上で木に登った本種の姿が見られ、水陸両方で生活する本種の生態を再現しています。

(6) ピラルクーの成長実績

昨年度に引き続きピラルクー（個体名：ルー、クー）の成長を記録しました。今年度の成長グラフとこれまでの記録(推定体長・推定体重)を以下に報告します。

昨年度と比較して推定体長・体重とも大きく成長しました。これは養殖魚用の人工飼料と生餌の量を増やしたことによるもので、巨大魚ピラルクーらしい風格ある体つきになってきました。今後も給餌量を調整し、更なる成長を目指します。



(7) ニホンイシガメの生息域外保全

昨年度に引き続き、ニホンイシガメの生息域外保全の取り組みを行いました。今年度の詳細な飼育状況については、添付資料「平成29年度 足立区生物園におけるニホンイシガメの生息域外保全への取り組みについて」をご確認ください。また、今年度はそれらの取り組みを以下で発表しました。

平成29年度 ニホンイシガメ生息域外保全についての投稿

日付	発表・投稿先	タイトル	備考
6月12・13日	第21回日本動物園水族館 西日本両生類爬虫類会議	足立区生物園におけるニホンイシガ メ生息域外保全の取り組み	□頭発表
10月3・4日	第29回日本動物園水族館 両生類爬虫類会議	足立区生物園におけるニホンイシガ メ生息域外保全の取り組みと現状	□頭発表
11月16-19日	日本動物園水族館協会 第20回種保存会議	千葉県におけるニホンイシガメの域 外保全	ポスター発表

(8) シバヤギの新規導入

ふれあいコーナーの新規導入種として、シバヤギ2頭を導入しました。人工保育個体のためとても人懐こく、お客様購入の餌やりプログラムで活躍しています。今後はヒツジのショーでの共演や、出張生物園などにも積極的に使用していきたいと考えています。



第三章 施設維持管理業務

I 元湊江公園の維持管理業務

1. 公園管理上の留意事項

本共同体は、元湊江公園の維持管理業務を遂行するにあたり、「元湊江公園・生物園管理運営業務仕様書」に基づき、以下の点に留意し、適正かつ、適切な公園の維持管理に努めました。

- 日常及び定期的な施設の点検と修繕、清掃などの保守管理を適切に行うとともに、遊具や工作物の故障、台風や降雪等、休園日・夜間においても緊急時に迅速に対応できる体制を確保すること。
- 公園内の見回りを行い、他の公園利用者や近隣住民等の迷惑や危険となる行為については、適正かつ安全な利用を行うよう指導すること。
(特に喫煙や犬のノーリード、バイクの乗り入れ、草地広場のボール遊びなど)
- 不審者・不審物の発見に努め、不法占拠等、不適切な利用が確認された場合は、公園管理者として撤去、退去を指導すると共に、必要に応じて区と協議し、必要な措置をとること。

2. 公園維持管理業務の主な内容

① 公園内清掃作業

園内は毎日、拾い清掃や掃き清掃を適宜組み合わせで行いました。園路・広場、園地の清掃を行い、常に園内をきれいな状態に保つことに努めました。公園外周道路の落葉やゴミについても清掃範囲にふくむものとし、定期的に外周清掃を行いました。またトイレは毎日水洗いを行い、衛生面に配慮した清掃を行いました。ゴミは分別を行ったうえで所定箇所に集積し、適切に処理をしました。その他公園入口の噴水モニュメントや排水口など、適宜高圧洗浄等を行い、美観の保持に努めました。

② 樹木管理

来園者の安全を最優先事項とし、枯枝の有無を日常的に点検し、発見次第速やかに撤去を行いました。樹木の剪定や刈り込み時は、樹木特性に応じて最も適切な時期と方法で行いました。高木に関しては定期的に高所作業車を使用し剪定や間引き作業などを、計画的に行いました。園内で発生した剪定枝等は定期的にチップ化して遊具広場を中心に敷き均すなど園内リサイクルに努めました。

③ 病虫害防除及びカラスの巣撤去

病虫害防除にあたっては早期発見に努め、剪定防除、補殺等により行いました。定期的に点検を行ったので、薬剤を使用する必要はありませんでした。

カラスの巣を撤去する場合は、東京都に鳥獣捕獲申請を行い、鳥獣保護法を遵守し、対応しました。なるべく産卵前に行い、産卵後は注意看板を設置して被害防止措置を講じ、早期に対応しました。卵、ヒナの撤去は必要最小限に留めました。

④ 植込み地及び草地管理

公園利用者の憩いと安全に配慮し、定期的に除草、草刈りを行いました。来園者が公園を快適に利用できるように、草の刈り高を少し高めに設定し、埃が立ちにくいように配慮しました。草地広場のうち、草地Aについては年5回程度均一に機械刈りを行い、草地Bについては、半面ずつ交互に刈込み、「いきもの原っぱ」として昆虫などが生息出来る環境づくりに努めました。半面を交互に年5回程度機械刈りを行いました。また草地A、B以外の草地については、年5回程度均一に機械刈りまたは除草を行いました。（図1参照）。刈草は基本的には刈放しとしましたが、状況に応じ場外処分としました。A、B以外の草地は公園利用者の利用状況やイベントに合わせた作業を行いました。



(図1)

⑤ 花壇管理

公園正面の花壇及び庭園内プランターは、季節に応じて年間3回、草花の植付けを行いました。定期的に花柄摘みや灌水をボランティアさんと一緒に行い、景観の維持に努めました。公園正面入口花壇は、来園者の方を迎え入れるスペースとして、花の色は華やかなものを選び植え付けました。また草花の植え替え時には種名板を毎時更新し、草花の名前や特徴を来園者にお知らせしました。

⑥ 遊具点検

月1回、定期的を目視、触診等による遊具及び工作物の点検を行い、ボルトナットの増し締め、滑り止めや緩衝材の取り付け、グリスアップ、遊具の再塗装、消耗部品の交換などを行いました。また毎日の遊具広場の清掃作業時も目視による点検を行い、安全管理を心掛けました。その他年1回、区が委託する専門業者による点検を行い、点検結果に従い速やかに修繕を行いました。

⑦ つり池清掃・釣り池噴水装置点検

水面のゴミや落葉等を網等で随時除去しました。鯉、鮒の死亡数、水温を毎日記録し、月報に添付し報告しました。また釣り池内に設置してある循環ポンプも適宜清掃点検を行いました。

※元湊江公園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成29年度施設維持管理業務年間報告（元湊江公園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

3.平成 29 年度 施設管理業務実施報告（元渕江公園）

作業内容	実施回数											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園維持管理												
公園内清掃	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
噴水モニュメント高圧洗浄						23日						
樹木剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
枯枝撤去	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
落葉清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
剪定枝・枯れ枝・チップ化	21日						3日～5日					
病害虫駆除		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜					
カラスの巣 撤去	5日	19日										
除草	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
花壇植栽・管理	除草 灌水 適宜	11日・適宜	適宜	適宜	適宜	14日・適宜	適宜	適宜	14日・適宜	適宜	適宜	適宜
遊具日常点検	27日	30日	26日	25日	30日	29日	31日	30日	31日	31日	26日	30日
釣り池 清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
釣り池 噴水装置清掃							13日			2日		
公園内 補修	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
スミラブ発砲銃投与	24日	28日	30日	25日	30日	29日	31日					
公園機械設備 甲府ビルサルベージ			7月に変更	6日								
公園照明巡回点検				30日					31日			

■ 計画
 ■ 適宜
 ■ 除草
 ■ 実行
 ■ 灌水
 ■ 仕様の予定

4. 公園維持管理作業の様子

■公園内清掃作業

落葉、ゴミ、トイレなどの清掃作業 公園外周の清掃 排水口の清掃など



1



■噴水モニュメント高圧洗浄

高圧洗浄機を使用しての洗浄作業 噴水雨水ピットの清掃



■ 樹木剪定

樹木の特徴に合わせて適期に剪定作業を行う。樹木の大きさによっては高所作業車を使用した。



■ 枯枝撤去

日常の巡回作業を行い、発見次第随時対応した。



■剪定枝・枯枝・チップ化

公園内で発生した剪定枝や枯枝をチップ化して公園内に敷きならす。緑のリサイクルを実行した。



■カラスの巣撤去

枯枝の点検と同じく日常点検を行い、発見次第対処した。



■ 除草

刈払機や手作業での除草作業



■ 花壇植栽・管理

年間3回の植え替え作業を実地した。日常管理として花柄摘みや灌水作業などを行い維持管理に努めた。



■遊具日常点検

毎月 1 回定期遊具点検の対応



■釣り池 噴水装置清掃

釣り池内の噴水の洗浄を行った。状態を確認しながら水中ポンプを解体し清掃を行った。



■公園内 補修

日常点検を行い修繕の対応を行った。



■スミラブ発砲錠投与

4月から10月まで毎月1回投与を行った。(2錠/箇所)



Ⅱ 生物園の維持管理業務

1. 生物園維持管理業務の内容

① 館内清掃

利用者が施設を気持ちよく利用できるよう、定期清掃、日常清掃、メンテナンスを計画的に実施し、常に館内の美化及び衛生管理に努めた。

② 植物管理

各種熱帯植物や雑木、野草、水生植物等についてその特性や生態的役割について十分理解し、剪定、除草、間引き、補植等必要な作業を適宜行った。また来園者が生物を安全に観察しやすいように管理を行った。

③ 機械設備

日常及び定期的な施設点検を行い、施設及び工作物の適正な維持管理に努めた。毎日温度や機械数値のデータを観測し、異常の有無を早期発見出来るようにして施設の異常が発見された場合は、速やかに修繕し対応した。

維持管理の仕様は、特記仕様書のほか東京都建設局「設備保守標準仕様書」及び「足立区維持保全業務標準仕様書」に基づき実施した。

※生物園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成29年度施設維持管理業務年間報告（生物園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

2. 平成 29 年度 施設管理業務実施報告（生物園）

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
館内清掃													
定期清掃 丸三興業	6回	10日		19日		9月に変更	4日	10日	13日	11日		13日	
大温室ガラス清掃 フジシヤテニール	1回	10日・17日・24日											
除塵	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
各所水拭き・洗剤拭き	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
ゴミ収取	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
消耗品補充	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
植物管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
散水	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
除草	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
間引き	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
補植・植替等	適宜		適宜	適宜			適宜	適宜	適宜				
機械設備		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エレベーター	毎日【遠隔監視】	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
	毎月【遠隔診断】	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
日立ビルシステム	4回【有人点検】	17日			10日			23日			15日		
自動ドア	2回						25日						5日
消防用設備	2回						19日						12日
機械警備	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
セコム	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
自家用電気工作物	毎月	8日	12日	10日	8日	11日	9日	16日	12日	9日	7日	10日	10日
吸収式冷温水機(ガス焚)	2回			20日					16日	11月に変更			
温水ボイラー	3回						28日				31日		26日
湧水・排水槽	1回			9日									
電話	2回				6日						31日		
自動制御設備総合点検	1回											26日	
環境測定	6回		18日		6日		28日		16日		31日		26日
グリストラップ	3回			5日				2日				6日	
丸三興業													
第二種 ヘッター	1回							20日					
第二種 密閉式膨張タンク	1回				28日								
ポンプ類	1回					22日							
空調機 AHU	2回					22日					27日		
ファンコンベクター 19基	2回					24日					30日		
エアコン 空調機 24基	2回					9月に変更	30日				2月に変更	27日	
排気ファン	1回										3月に変更		20日
加熱冷却ユニット	2回				28日			21日					
ポンプ類(雑)	1回							31日					
天窓・自動	1回									26日			
フィルター洗浄	6回	30日		30日		9月に変更	28日	11月に変更	25日	1月に変更	30日	3月に変更	29日
クーリングタワー	4回		6月に変更	16日	28日		30日		1月に変更		30日		
定期巡回点検	毎月	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
塩素除去装置	4回			30日			30日			20日			20日
		計画	適宜	除草	実行	灌水	書類の予定						

3. 生物園維持管理作業の様子

■各所水拭き、洗剤拭き

モップによる水拭き、洗剤を用いたのポリッシャー掛け、高圧洗浄など



■ゴミ収取、消耗品補充 毎日の基本作業



■ 除塵、清掃作業

館内、庭園内、大温室のゴミの清掃



■ 除草

庭園や食草温室周りの除草作業



■ 灌水

大温室、庭園、食草温室の灌水作業 スプリンクラーが届かない部分の手灌水。



■ 剪定作業

大温室や庭園の剪定作業 閉園後や休園日に作業を行いチョウなどの昆虫に適した環境を創り出す。



■間引き、植え替え

食草温室や大温室での間引き作業や植え替え作業

